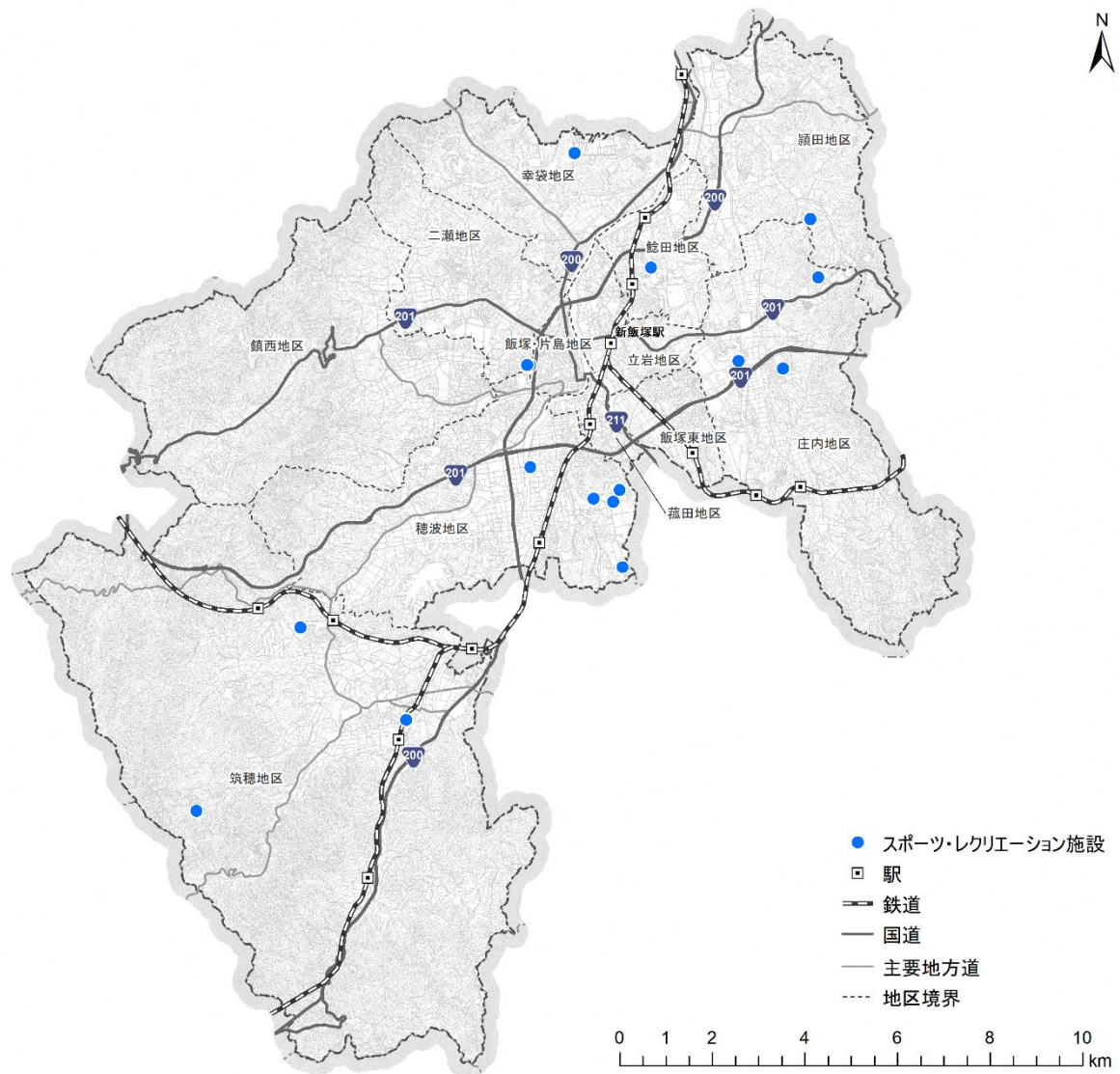


7) スポーツ・レクリエーション施設

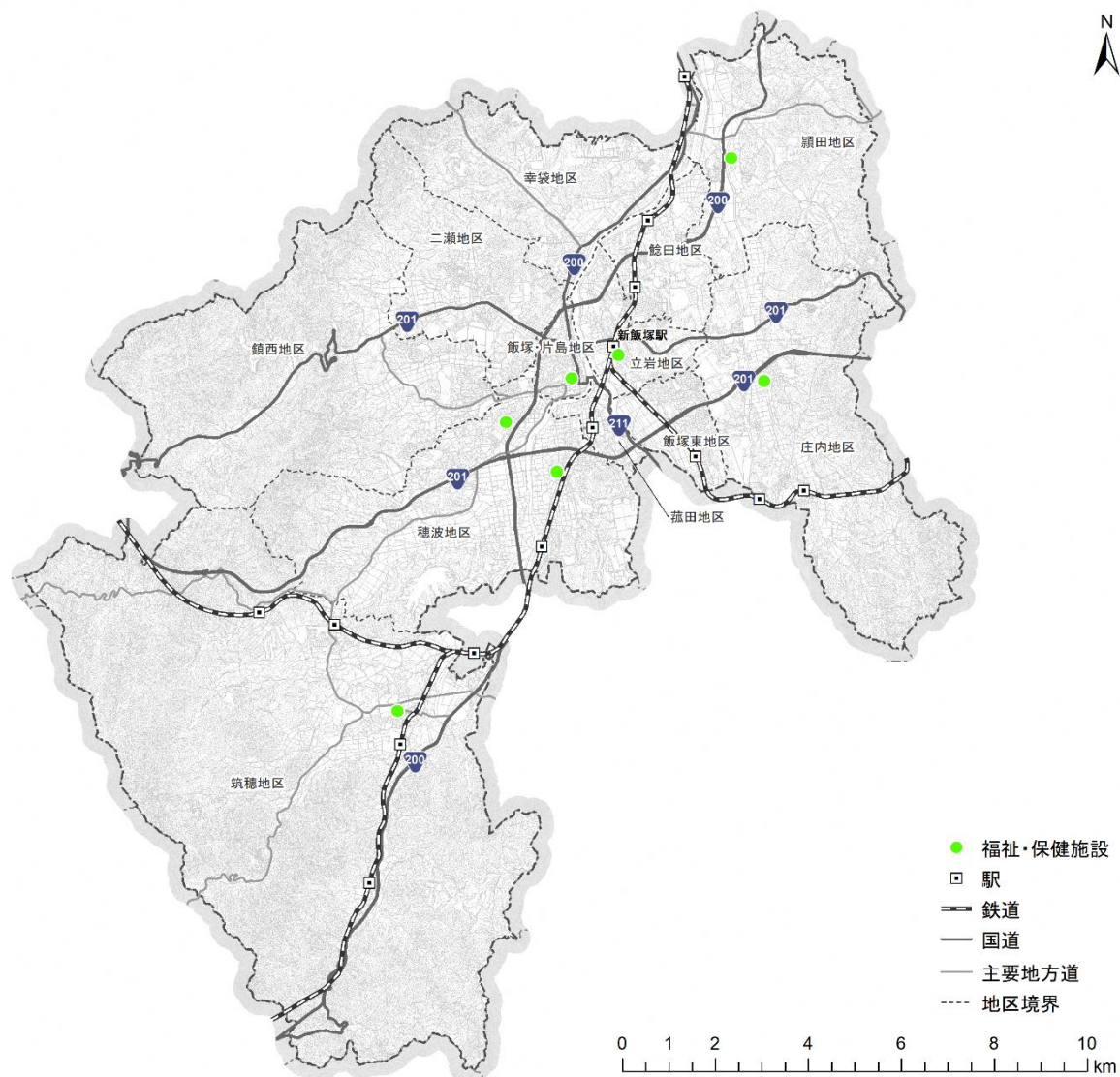
- 市内には、スポーツ・レクリエーション施設が点在しており、特に穂波地区では体育館や野球場、市民プールなどのスポーツ・レクリエーション施設が10施設立地しています。



▲ 飯塚市のスポーツ・レクリエーション施設の分布

8) 福祉・保健施設等

- 市内の福祉・保健施設は、穎田地区、庄内地区、立岩地区、飯塚・片島地区、筑穂地区に各1件、穂波地区に2件の計7件立地しています。

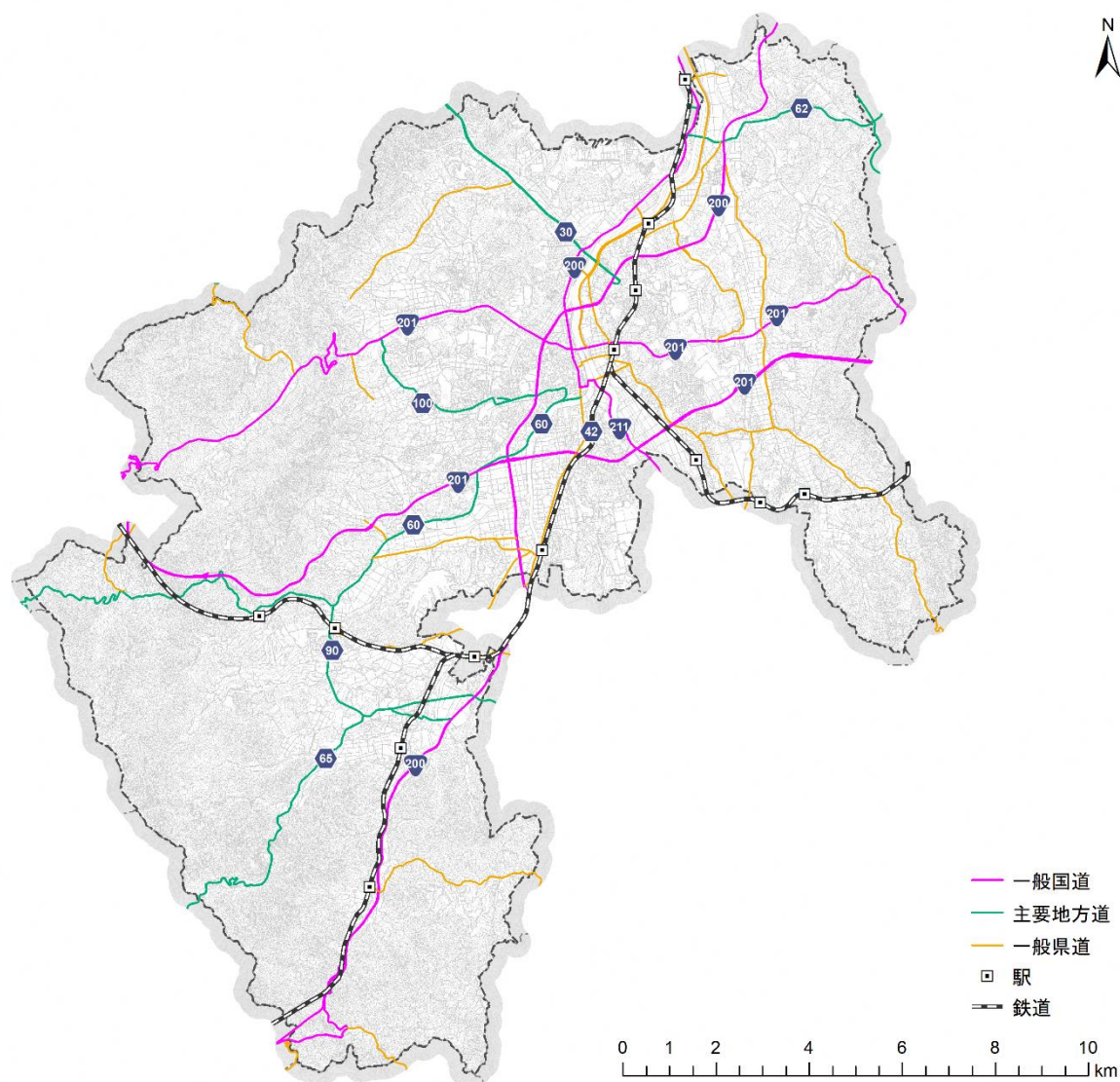


▲ 飯塚市の福祉・保健施設の分布

1-6 道路ネットワーク

1) 道路網

- 本市には、東西方向に国道 201 号、国道 201 号バイパスが、南北方向に国道 200 号、国道 200 号バイパス、国道 211 号が通過しており、それらの国道を骨格として市域の道路網が形成されています。
- また、福岡都市圏と本市を結ぶ重要な路線である八木山バイパスでは 4 車線化に向けた工事が進められており、篠栗 IC から筑穂 IC 間は令和 6 年度、筑穂 IC から穂波東 IC 間は令和 11 年度に開通予定となっています。

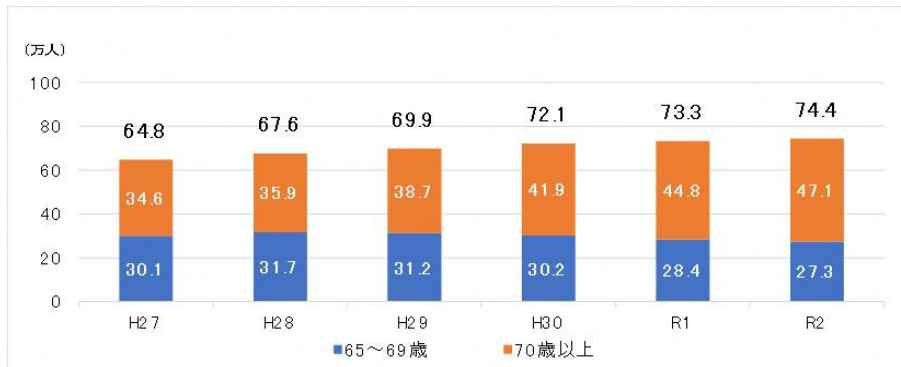


▲ 飯塚市の道路ネットワーク

1-7 運転免許保有状況及び交通事故状況

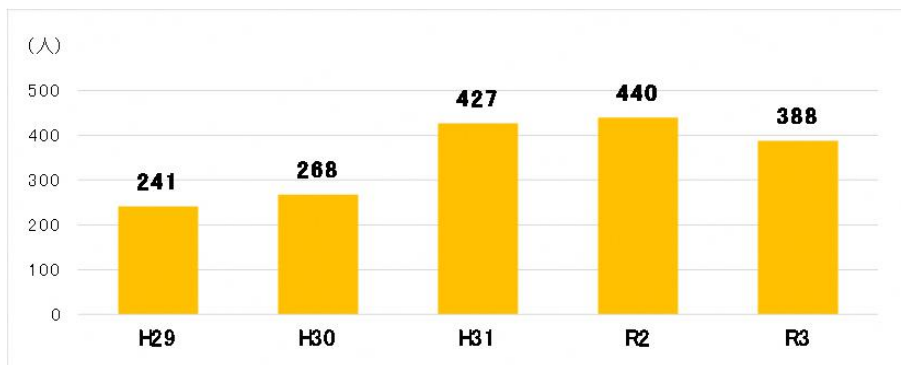
1) 高齢者の運転免許保有状況

- 福岡県の65歳以上の運転免許保有者数は増加傾向にあり、平成30年には70万人を超えており、令和2年には74.4万人となっています。
- 飯塚市の65歳以上の高齢者運転免許証自主返納者数は平成29年から令和2年までは増加傾向にあったが、令和3年には減少に転じています。



資料：福岡県警察本部 交通年鑑

▲ 福岡県の65歳以上 運転免許保有者数



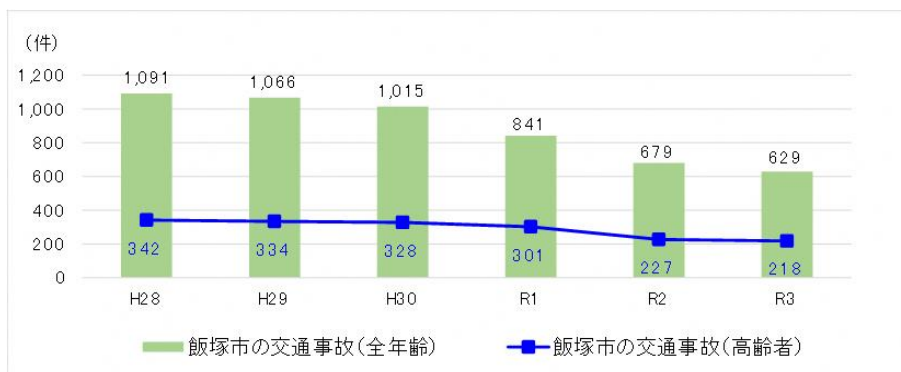
※免許証自主返納者の内、飯塚市高齢介護課へ支援事業を申請した人数

資料：飯塚市提供資料

▲ 高齢者運転免許証自主返納者数

2) 高齢者の交通事故

- 飯塚市内の交通事故件数の推移をみると、平成28年以降減少傾向にあります。
- 65歳以上の高齢者の事故件数も平成28年以降減少傾向にあります。交通事故件数全体に占める65歳以上の事故の割合は増加傾向にあり、令和3年では629件中218件（約35%）となっています。



※集計期間：各年1月～12月

資料：福岡県警察本部「あなたの町の交通事故」

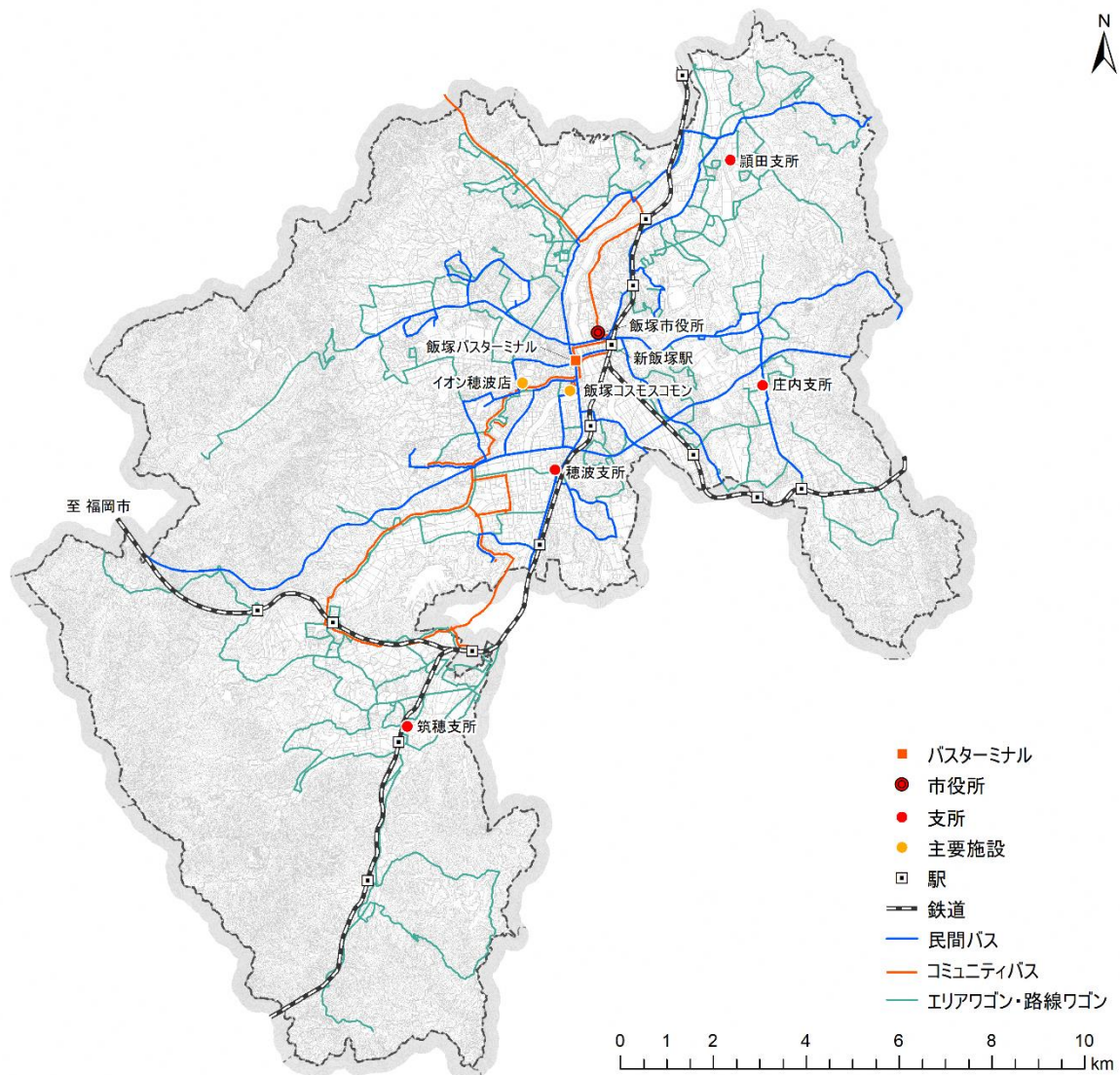
▲ 飯塚市の交通事故発生件数

2 飯塚市の既存公共交通の現状整理

飯塚市内の地域公共交通における課題を把握するために、各種データ（地域公共交通の状況、利用状況、財政状況など）を収集・整理しました。

2-1 飯塚市の公共交通ネットワーク

- 飯塚市と福岡都市圏及び北九州都市圏を結ぶJRの福北ゆたか線（篠栗線と筑豊本線の桂川駅以北を合わせた愛称）を軸に、新飯塚駅と田川市の田川後藤寺駅を結ぶ後藤寺線、桂川駅と筑紫野市の原田駅を結ぶ原田線（筑豊本線の桂川駅以南における愛称）の鉄道網が構築されており、市内には計11の駅が設置されています。



※2022（令和4）年9月1日現在

▲ 飯塚市の公共交通ネットワーク

2-2 飯塚市のコミュニティ交通の概要

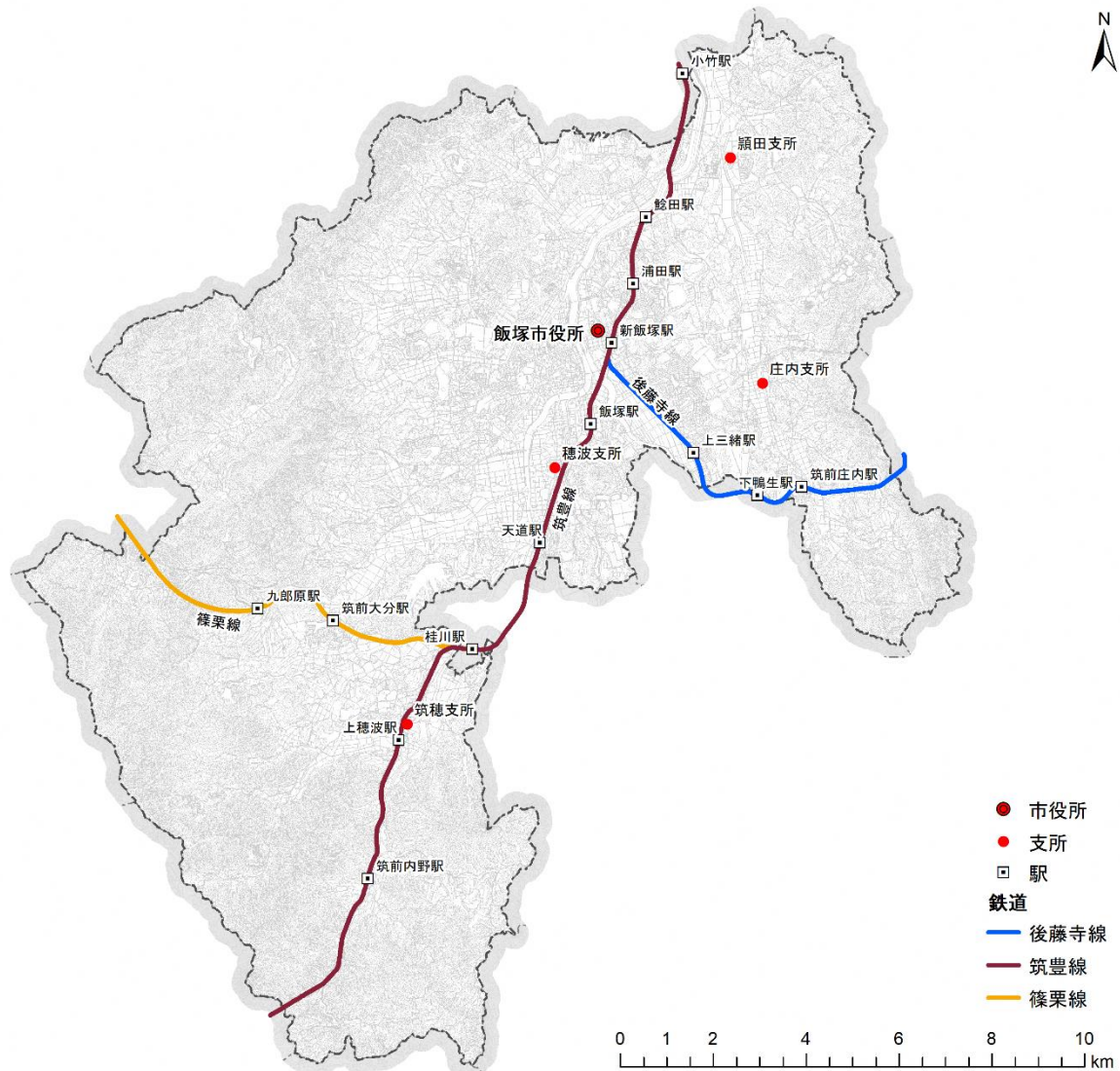
飯塚市コミュニティ交通の沿革

平成 18 年（2006 年）3 月	1 市 4 町が合併し、新市制の現飯塚市が発足。旧 4 町のコミュニティ交通の運行を引き継ぐ。
平成 20 年（2008 年）	「飯塚市地域公共交通総合連携計画」を策定する。
平成 21 年（2009 年）4 月	旧 4 町のコミュニティ交通を見直し、定時定路線型のコミュニティバスの実証運行を開始する。 (全 11 路線、運賃 100 円均一)
平成 22 年（2010 年）4 月	コミュニティバスの運行を 11 路線から 13 路線に拡大
平成 23 年（2011 年）	「飯塚市生活交通ネットワーク計画」を策定する。
平成 24 年（2012 年）4 月	コミュニティバスの運行を 13 路線から 3 路線に再編 (全 3 路線、運賃 200 円均一) デマンド型予約 乗合タクシーの運行を開始する。 (全 8 地区 1 1 台体制、運賃 300 円均一)
平成 26 年（2014 年）	「飯塚市地域公共交通網形成計画」を策定する。
平成 27 年（2015 年）4 月	コミュニティバス及び予約乗合タクシーに加え、中心市街地において街なか循環バスの実証運行を開始する（3 年間）。 (全 3 路線、運賃 100 円均一)
平成 30 年（2018 年）3 月	「第 2 次飯塚市地域公共交通網形成計画」を策定する。
平成 30 年（2018 年）4 月	コミュニティバスと街なか循環バスを統合し、コミュニティバスを全 4 路線体制による運行とする。
令和元年（2019 年）10 月	JR 九州バス（直方線）の一部区間廃止に伴い、宮若市と共同でコミュニティバス宮若・飯塚線の運行を開始
令和 2 年（2020 年）10 月	西鉄バスの一部区間廃止に伴い、3 地区の予約乗合タクシーを利用して廃止区間における定時定路線型運行路線ワゴン(運賃 200 円均一)を開始し、予約乗合タクシー車両を 1 台増車。併せて、コミュニティバス宮若・飯塚線の運行ルートを一部変更。
令和 4 年（2022 年）4 月	コミュニティバス 4 路線を統廃合し、1 路線とする。 まちづくり協議会が運行していた買物ワゴンを継承する等して、エリアワゴン（地区内定時定路線型）の運行を開始する。（全 10 地区、運賃 100 円均一）

2-3 飯塚市の地域公共交通の概要

1) 鉄道の運行状況

- 飯塚市と福岡都市圏及び北九州都市圏を結ぶJRの福北ゆたか線（篠栗線と筑豊本線の桂川駅以北を合わせた愛称）を軸に、新飯塚駅と田川市の田川後藤寺駅を結ぶ後藤寺線、桂川駅と筑紫野市の原田駅を結ぶ原田線（筑豊本線の桂川駅以南における愛称）の鉄道網が構築されており、市内には計11の駅が設置されています。

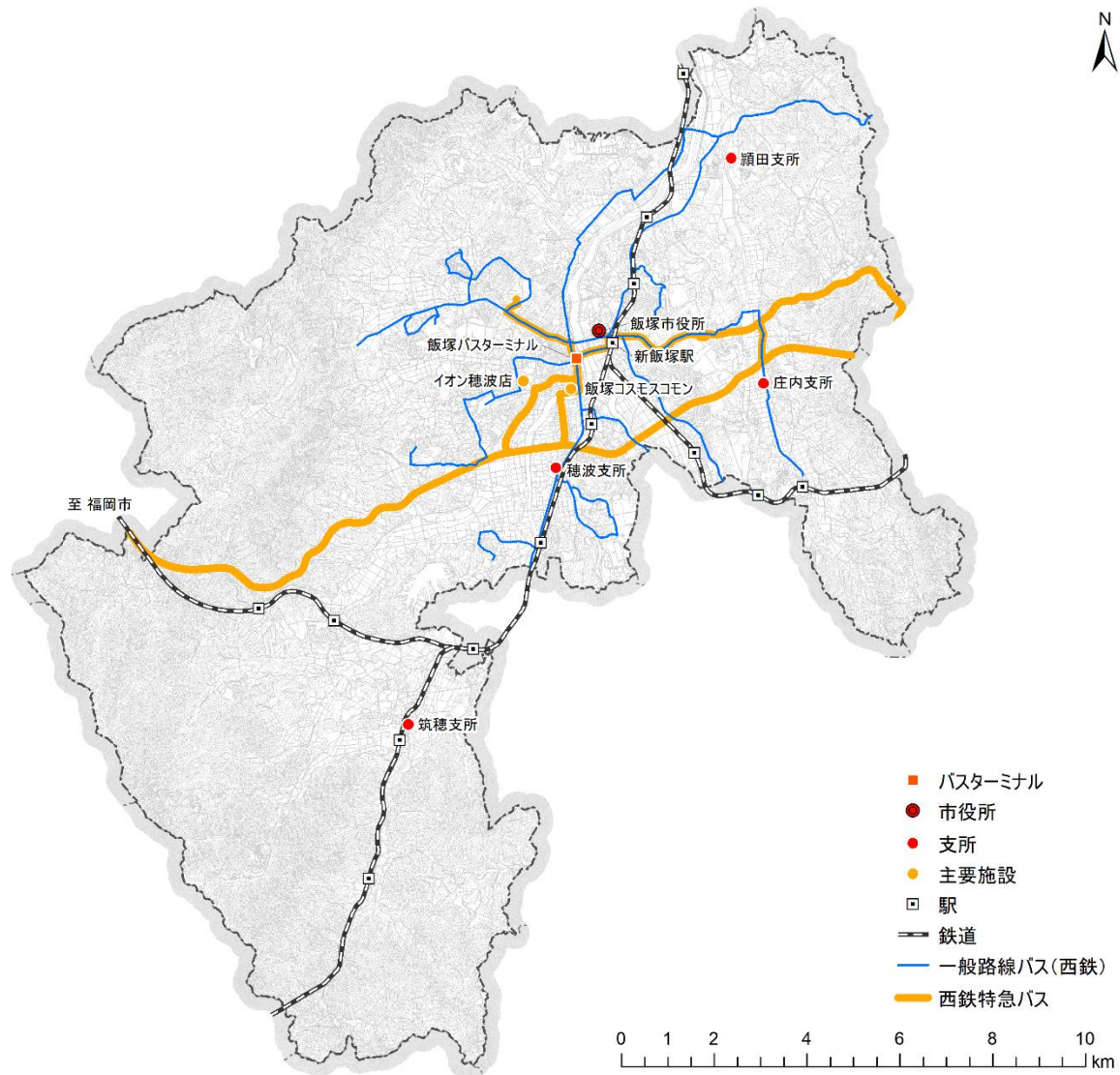


※2022（令和4）年9月1日現在

▲ 鉄道路線図

2) 民間路線バスの運行状況

- 飯塚市の民間路線バス事業者は2社あったが、そのうち飯塚市と宮若市とを結んでいたJR九州バスが2019（令和元）年9月末をもって撤退したため、現在では西鉄バスの単独運行となっています。
- 西鉄バスは全ての便が飯塚バスターミナルまたはあいタウンに乗り入れています。
- 西鉄特急バスは福岡市や田川市などと、一般路線バスは嘉麻市や桂川町などを結んでおり、隣接市町との都市間移動の役割を果たしています。



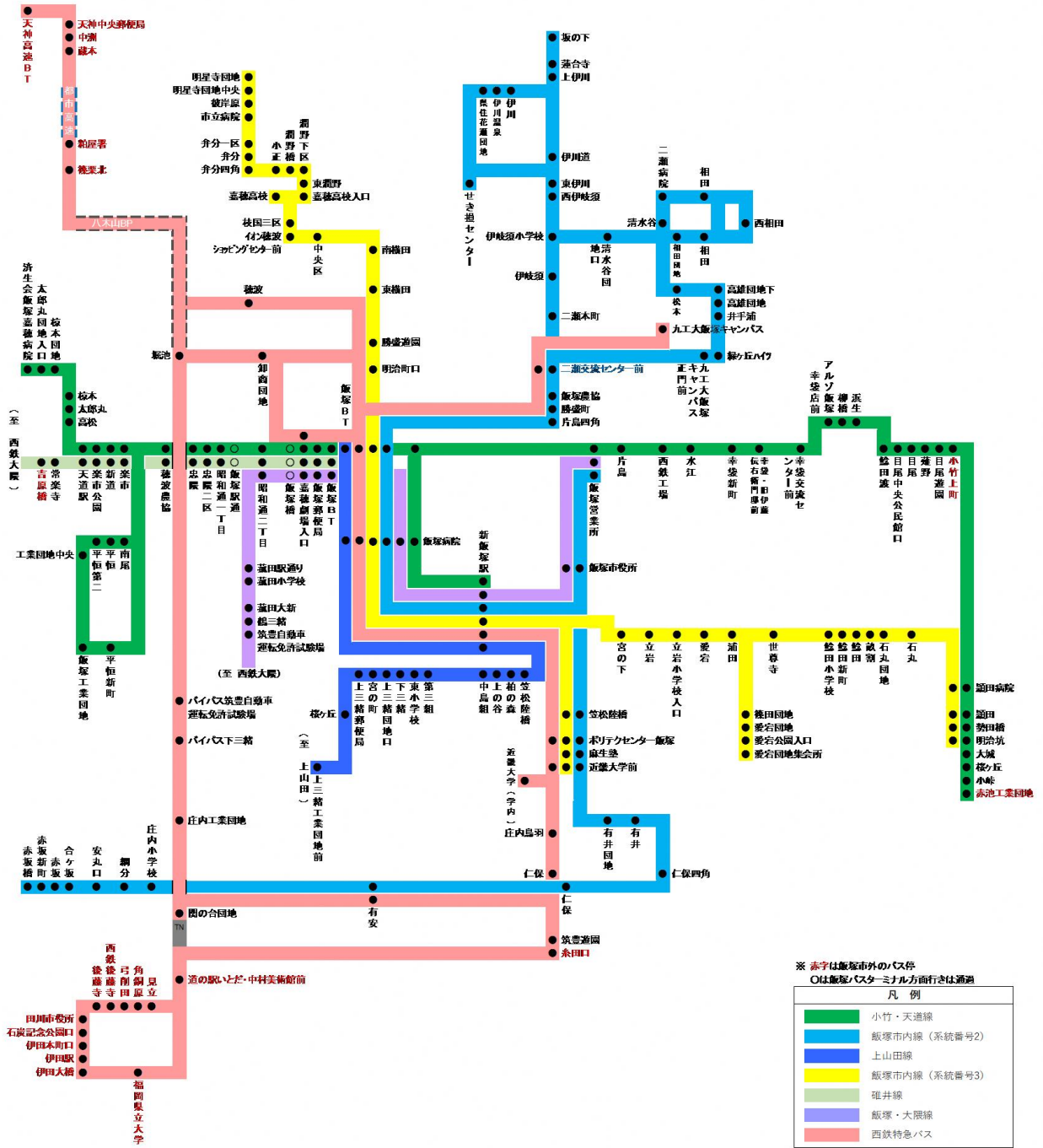
資料：西鉄ホームページ
 ※2022（令和4）年9月1日現在

▲ 民間バス路線図

西鉄バス筑豊運行本数（飯塚バスターミナルおよび飯塚・あいタウン前発）

2022(令和4)年9月1日現在

路線名	系統番号	行先	運行本数			関係周辺市町		
			平日	土曜	日祝			
小竹・天道線	1	赤池工業団地	13	13	6	福智町		
	1	新飯塚駅	13	13	6			
	21	済生会飯塚嘉穂病院	5	5	0			
		飯塚工業団地	4	4	0			
飯塚市内線	2	坂の下	11	12	10	—		
		西相田(伊岐須経由)	3	2	2			
		西相田(九工大経由)	14	13	12			
		伊川温泉	2	4	2			
	2	赤坂橋	6	5	5			
		近畿大学	3	0	0			
		新飯塚駅	0	4	2			
		西鉄飯塚営業所	14	9	8			
	3	明星寺団地(快速・嘉穂高校経由)	6	0	0			
		明星寺団地(普通・嘉穂高校経由)	1	0	0			
		明星寺団地(普通・嘉穂高校非経由)	22	24	24			
		嘉穂高校(快速)	1	0	0			
	3	明治坑	13	13	13			
		愛宕団地	14	13	11			
		近畿大学	5	0	0			
		新飯塚駅	2	0	0			
	飯塚・大隈線	12	西鉄大隈(稻築才田経由)	2	1		0	嘉麻市
			西鉄大隈(稻築才田非経由)	24	17		15	
			稻築才田	1	0		0	
		12	西鉄飯塚営業所	9	2		2	
上山田線	23	上山田(山野社宅経由)	2	0	0	嘉麻市		
		上山田(山野社宅非経由)	8	6	7			
		山野社宅	9	9	8			
碓井線	27	西鉄大隈(嘉穂総合高校経由)	3	3	2	嘉麻市・桂川町		
		西鉄大隈(嘉穂総合高校非経由)	5	5	6			
筑豊(特急)福岡線	—	天神(穂波経由)	36	33	33	田川市 篠栗町 ほか		
		天神(堀池経由)	39	35	35			
		香春町役場	8	7	7			
	—	福岡県立大学	7	6	6			
		西鉄後藤寺(烏尾トンネル経由)	22	25	25			
		西鉄後藤寺(糸田口経由)	7	7	7			
		近畿大学	2	0	0			
新飯塚駅	25	23	23					
合計			361	313	277			



資料：西鉄ホームページ
※2022 (令和4) 年9月1日現在

▲ 民間バス路線図

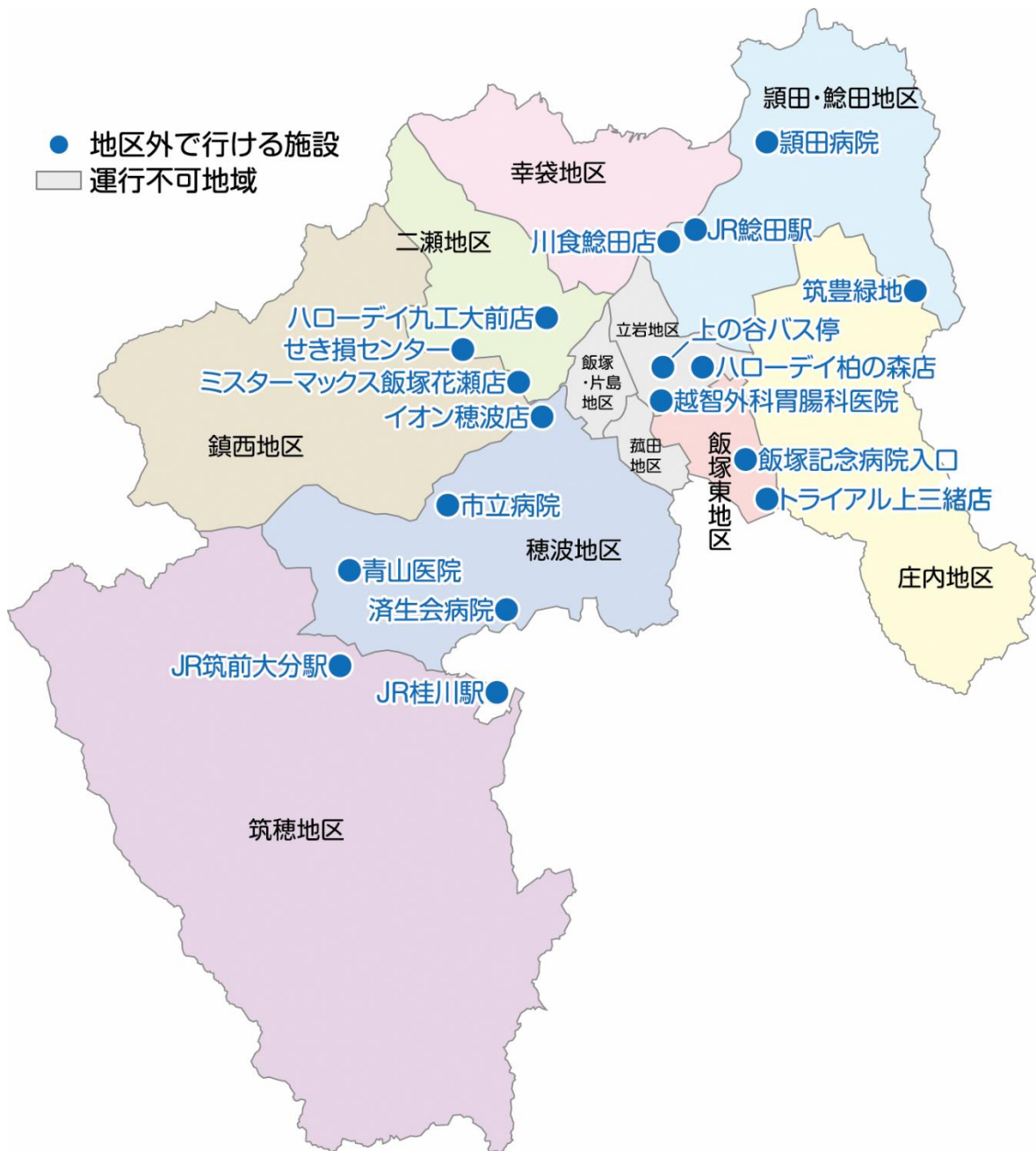
コミュニティバス運行本数および運行事業者

2022(令和4)年9月1日現在

路線名	運行経路	運行本数			関係市町	運行事業者
		平日	土曜	日曜		
筑穂 高田線	桂川駅(北口)→飯塚市役所	3	—	—	—	(有)Shona観光
	飯塚市役所→桂川駅(北口)	3	—	—		
宮若 飯塚線	吉原町→宮田	5	3	3	宮若市	誠心物流(株)
	宮田→吉原町	5	3	3		

4) 予約乗合タクシーの概況

- 予約乗合タクシーは、身近な地区内の移動支援のために、同一地区内に限りドア・ツー・ドアによる移動を可能とした公共交通機関です。
- 利用には事前の利用登録と利用の1時間前までの予約が必要であり、ご利用希望の方が複数いる場合には乗り合いによる運行となることがあります。
- 運賃は一般が300円均一、小学生以下は無料、障がい者手帳の提示者は200円均一となっており、平日のみの運行となっています。
- 同一地区内の移動が原則であるが、一部の施設においては地区外であっても行くことが出来るよう便宜が図られています。



資料：飯塚市「コミュニティ交通」利用ガイド
 ※2022（令和4）年9月1日現在

▲ 飯塚市予約乗合タクシー運行地区

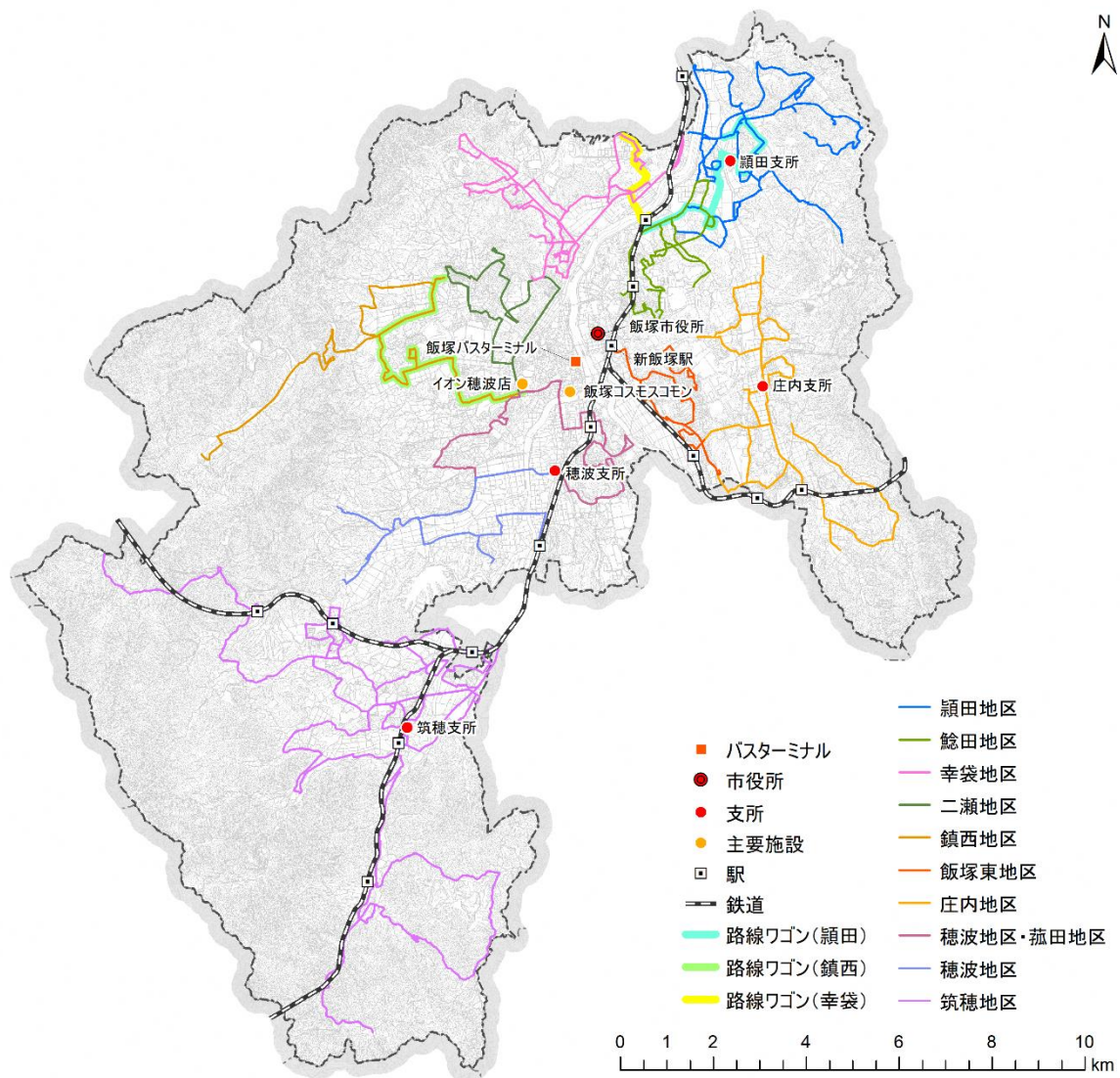
予約乗合タクシー運行曜日および運行事業者

2022 (令和4)年9月1日現在

運行地区	運行曜日							号車	事業者名
	月	火	水	木	金	土	日		
穎田・鯉田地区	○	○	○	○	○	-	-	8号車	安全タクシー(有)
幸袋地区	○	○	○	○	○	-	-	9号車	
穂波地区	○	○	○	○	○	-	-	10、11号車	穂波タクシー(株)
筑穂地区	○	○	○	○	○	-	-	3、4、5号車	(有)Shona 観光
庄内地区	○	○	○	○	○	-	-	1号車	
飯塚東地区	○	○	○	○	○	-	-		
鎮西地区 (八木山地区以外)	○	○	○	○	○	-	-	2号車	総合交通(株) 飯塚営業所
二瀬地区	○	○	○	○	○	-	-	6号車	
鎮西・二瀬地区 (八木山地区)	○	○	○	○	○	-	-	7号車	

5) エリアワゴン・路線ワゴンの概況

- 飯塚市では、各地区のまちづくり協議会が運行していた「買物ワゴン」を継承する形で、地区内を定時定路線型の「エリアワゴン」を運行しています。
- エリアワゴンは、市内10地区で運行しており、運行曜日は地区によって異なります。
- また、民間バスの路線縮小等に伴い、幸袋地区、鎮西地区、穎田地区では「路線ワゴン」を運行しています。
- エリアワゴン、路線ワゴンともに、運賃は一般が100円均一、小学生以下は無料、障がい者手帳の提示で介護者（1名）は無料となっています。



資料：飯塚市「コミュニティ交通」利用ガイド
※2022（令和4）年9月1日現在

▲ エリアワゴン路線図

穎田、幸袋の便数の数え方を確認

エリアワゴン運行本数および運行事業者

2022 (令和4)年9月1日現在

運行地区	系統	運行本数							運行事業者
		月	火	水	木	金	土	日	
穎田	地区内全域	-	-		-	-		-	安全タクシー(有)
鯉田	地区内全域	-	3	-	-	-	3	-	
幸袋	地区内全域	-	-	-		-		-	
鎮西	地区内全域	-	4	-	-	4	4	-	総合交通(株)
二瀬	地区内全域	-	5	-	-	5	5	-	
飯塚東	地区内全域	2	-	2	-	2	4	-	(有)Shona 観光
	柏の森ヒルズ系統	8	8	8	8	8	8	-	
庄内	地区内全域	-	2	-	2	-	4	-	
	赤坂橋系統	3	3	3	3	3	3	-	
穂波・菰田	穂波・菰田2地区一体運行	8	8	4	4	8	8	-	穂波タクシー(株)
	高田系統	-	-	4	4	-	6	-	
筑穂	大分線	-	4	-	4	-	4	-	(有)Shona 観光
	内野線	-	5	-	5	-	5	-	
	上穂波線	-	4	-	4	-	4	-	
	内野・内住線	-	-	-	-	-	2	-	

資料：飯塚市「コミュニティ交通」利用ガイド、飯塚市提供資料

路線ワゴン運行本数および運行事業者

2022 (令和4)年9月1日現在

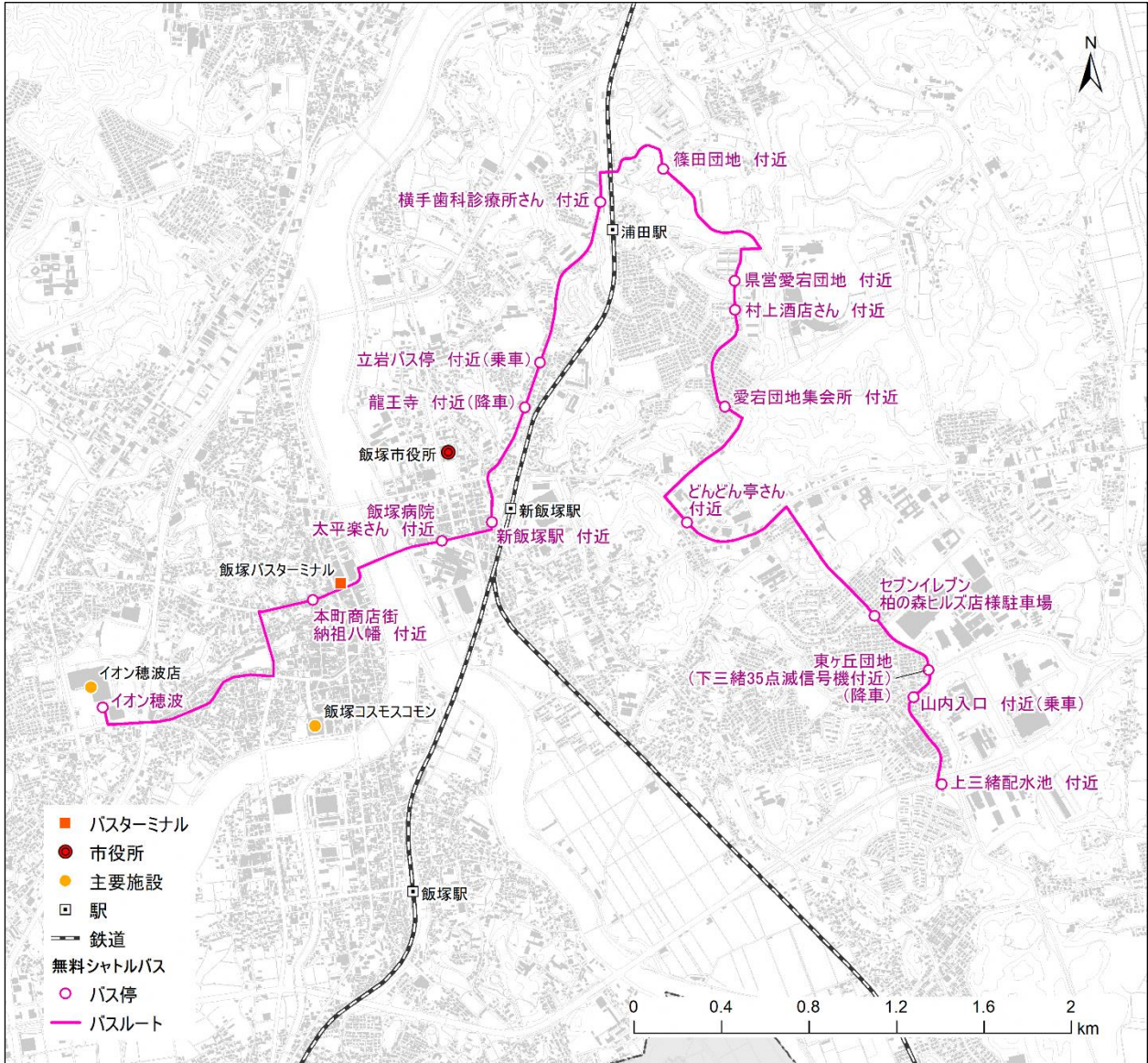
運行地区	区間	運行本数							運行事業者
		月	火	水	木	金	土	日	
穎田	穎田病院～川食鯉田店	4	4	4	4	4	-	-	安全タクシー(有)
鯉田・幸袋	吉北団地～鯉田駅	5	5	5	5	5	-	-	安全タクシー(有)
鎮西	二瀬病院～イオン穂波点	7	2	7	7	2	-	-	総合交通(株)

資料：飯塚市「コミュニティ交通」利用ガイド、飯塚市提供資料

6) その他の地域公共交通資源の状況

- 商業施設（イオン）送迎バス

● イオン穂波店では買い物客専用の無料シャトルバスを運行しており、運行ルートは下図のとおり上三緒地区を起点としています。



資料：誠心物流（株）ホームページ
※2022（令和4）年9月1日現在

▲ イオン穂波ショッピングセンター無料シャトルバス路線図

イオン穂波ショッピングセンター無料シャトルバス運行本数（イオン発）

2022（令和4）年9月1日現在

路線名	運行経路	運行本数			運行事業者
		平日	土曜	日曜	
イオン穂波SC	上三緒→イオン穂波 ショッピングセンター	5	5	5	誠心物流(株)
	イオン穂波 ショッピングセンター→上三緒	5	5	5	

● 八木山地区スクールバス

- 八木山地区では、平成25年4月よりスクールバスの運行を開始しています。スクールバスは定時定路線型運行で、児童・生徒の登校日に運行しています。この時、一般市民も乗車することができます。
- 運行ダイヤは、学校開校日は平日ダイヤにて運行（朝3便、夕1便）、運賃は、児童・生徒は無料、一般乗客は200円（障がい者割引100円）となっています。



資料：飯塚市提供資料
※2022（令和4）年9月1日現在

▲ 八木山地区スクールバス路線図

八木山地区スクールバス運行本数

運行時期	運行本数
学校開校日	朝3便、夕1便
土曜日のうち飯塚鎮西中学校が部活動を行う日	朝1便、昼2便、夕1便
休業期間中（夏季、冬季、春季）のうち盆休み（8/13～8/15）及び年末年始（2/29～1/3）を除いた平日	夕1便
学校行事に伴い、土日に開校する日 昼放課、夕方放課あり	朝1便、昼及び夕1便

2-4 飯塚市の地域公共交通の利用状況

1) 鉄道の利用状況

- 新飯塚駅の利用者は 2019 年度までは堅調に伸びていますが、その他の駅の利用者は横ばいまたは減少傾向となっています。
- 2020 年度は新型コロナの影響もあり、各駅の利用者数は急減しています。

▼ JR九州駅別・年度別乗客数

(単位:千人)

	福北ゆたか線						後藤寺線		原田駅		
	鮎田駅	浦田駅	新飯塚駅	飯塚駅	天道駅	筑前大分駅	九郎原駅	上三緒駅	筑前庄内駅	上穂波駅	筑前内野駅
2016年度	389	271	4,433	1,134	537	732	4	60	27	10	11
2017年度	393	100人以上	4,503	1,141	548	731	—	—	—	—	—
2018年度	367	100人以上	4,520	1,122	563	706	—	—	—	—	—
2019年度	361	100人以上	4,494	1,126	566	678	—	—	—	—	—
2020年度	279	100人以上	2,994	757	415	468	—	—	—	—	—

※各駅乗車人員で集計

資料:九州旅客鉄道(株)

※2017(H29)以降はJR九州管内の乗車人員上位300位以内及び100人以上の駅のみ公表となっている

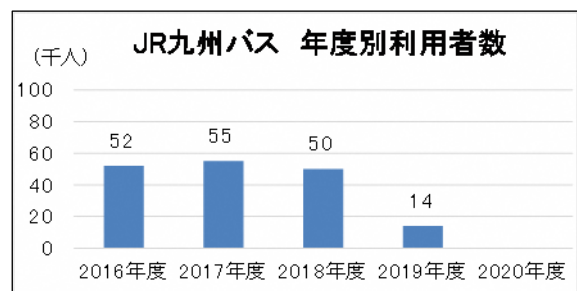
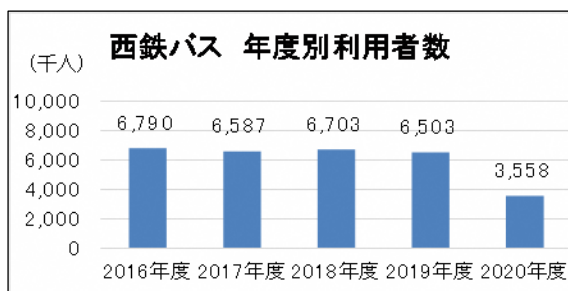
2) 民間路線バスの利用状況

- 民間路線バスの利用者数は減少傾向にあり、2020 年度は新型コロナの影響もあり、利用者数は急減しています。
- JR九州バスは 2019 (令和元) 年 9 月 30 日をもって路線が廃止となっています。

▼ 民間路線バス年度別乗客数

(単位:千人)

	西鉄バス	JR九州バス	合計
2016年度	6,790	52	6,842
2017年度	6,587	55	6,642
2018年度	6,703	50	6,753
2019年度	6,503	14	6,517
2020年度	3,558		3,558



※JR九州バス 市内笠置橋～新飯塚駅間

※JR九州バスは、2019年9月30日の運行をもって廃止

資料:統計いづか

▲ 民間路線バス年度別乗客数

3) コミュニティ交通全体の利用状況

- 予約乗合タクシーとコミュニティバスは、令和元年度まで増加傾向にあったが、令和2年度以降は新型コロナの影響で利用者数が急減しています。
- 西鉄バスの一部区間廃止に伴い、令和2年10月より定時定路線型の「路線ワゴン」の運行を開始し、令和3年度の利用者数は4,364人となっています。
- また、JR九州バスの一部区間廃止に伴い、令和元年10月より宮若市と共同でコミュニティバス「宮若・飯塚線」の運行を開始し、令和3年度の利用者数は12,538人となっています。

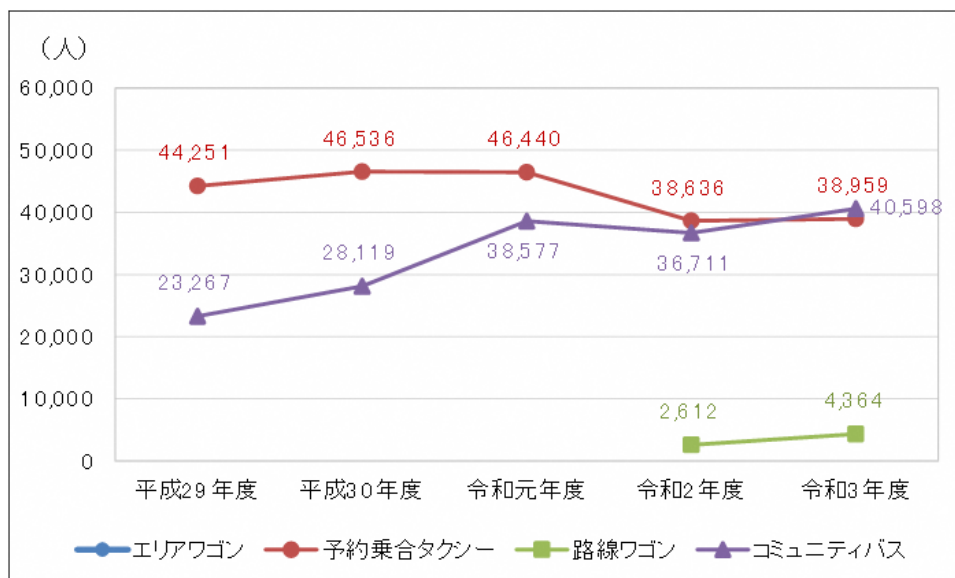
▼ 飯塚市コミュニティ交通 利用者数

(単位:人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
エリアワゴン						5,098
予約乗合タクシー	44,251	46,536	46,440	38,636	38,959	6,425
路線ワゴン				2,612	4,364	547
コミュニティバス	23,267	28,119	38,577	36,711	40,598	4,219
コミュニティバス(飯塚市)	23,267	28,119	31,071	26,330	28,060	1,893
コミュニティバス(宮若市と共同運行)			7,506	10,381	12,538	2,326

※令和4年度は6月末までの合計

資料: 飯塚市提供資料



※エリアワゴンは令和4年から運行開始

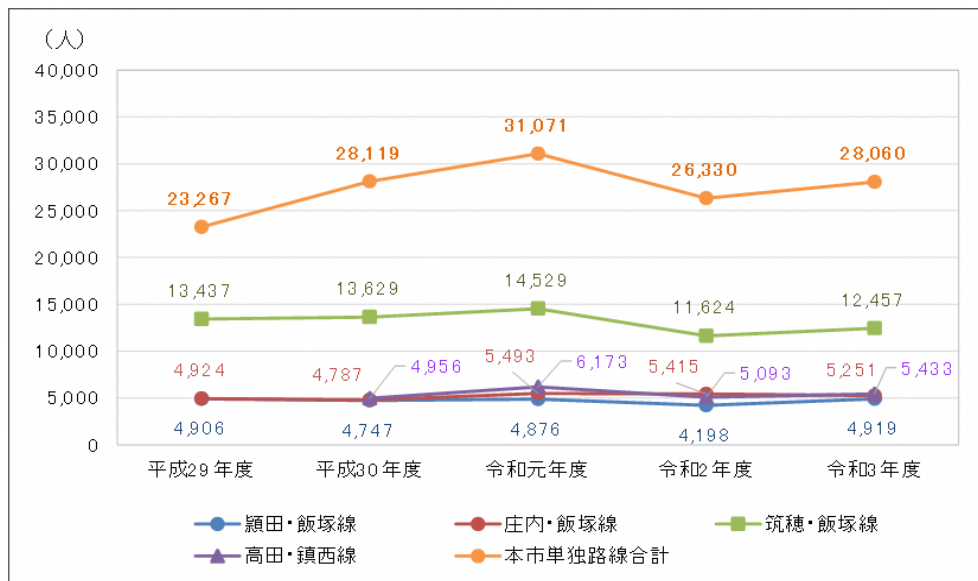
資料: 飯塚市提供資料

▲ 年度別 飯塚市コミュニティ交通 利用者数

4) コミュニティバスの利用状況

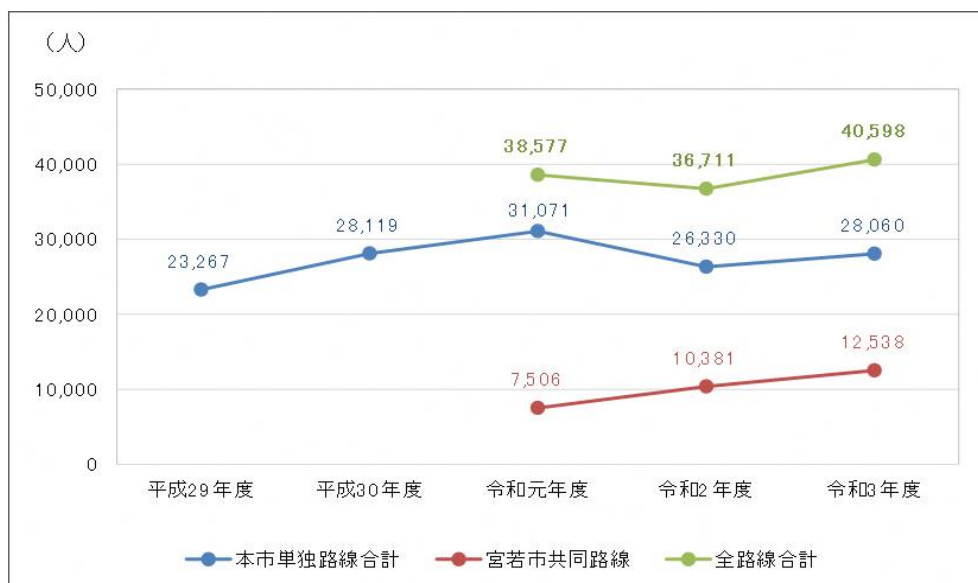
年度別利用者数

- 延べ利用者数は令和元年まで増加傾向にありましたが、新型コロナの影響で令和2年度には急減しています。令和3年度の延べ利用者数は 28,060 人で令和2年度より 1,730 人増加しています。
- 運行主体別の利用者数をみると、市単独路線は令和元年度まで増加傾向、令和2年度で急減している一方で、宮若市共同路線は運行開始の令和元年度以降増加傾向となっています。全路線の延べ利用者数は、令和3年度で 40,598 人となっています。



資料：飯塚市提供資料

▲ コミュニティバス 年度別 路線別利用者数

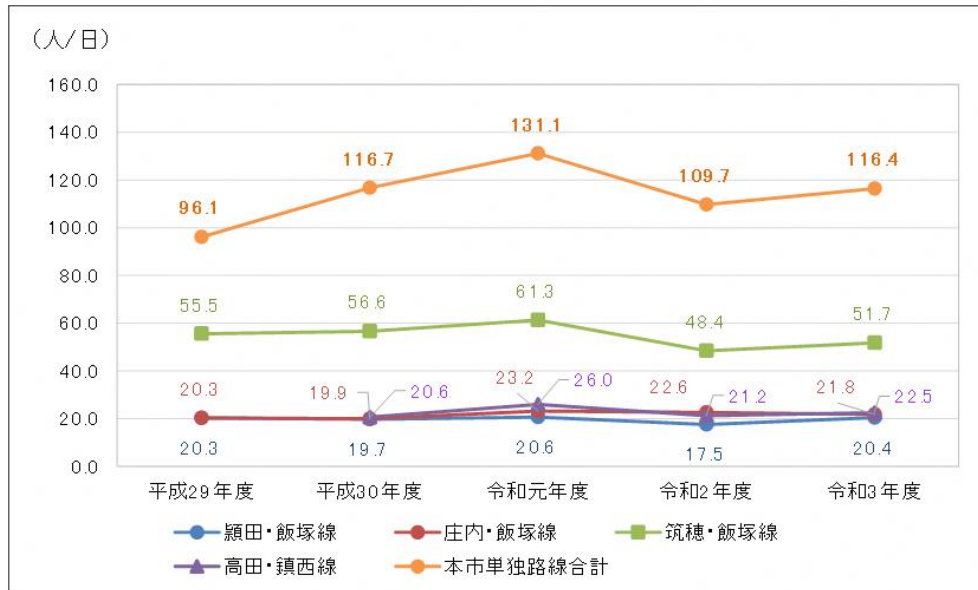


資料：飯塚市提供資料

▲ コミュニティバス 年度別 運行主体別利用者数

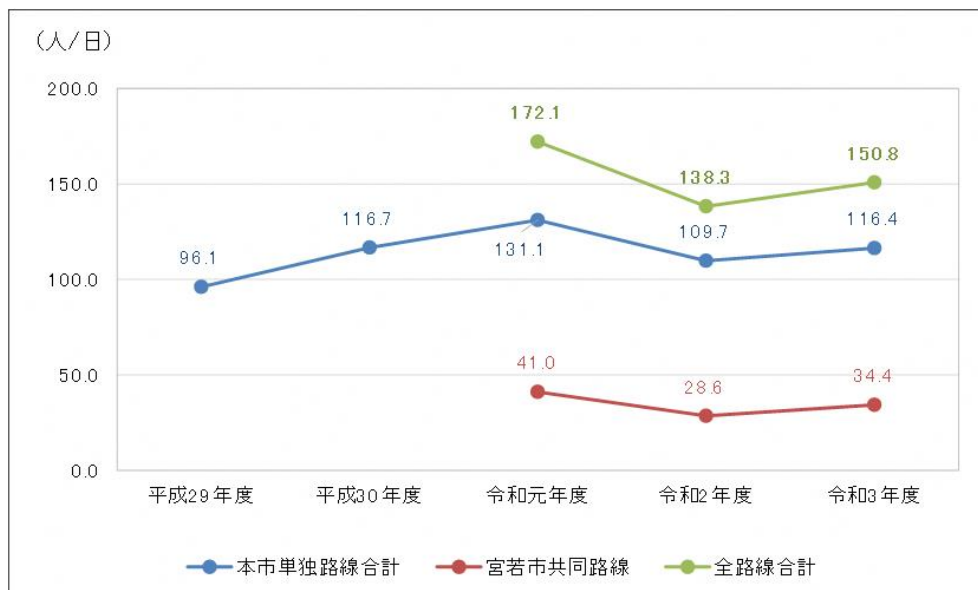
1日あたりの利用者数

- 本市単独路線全体の1日あたりの利用者数は、令和元年まで増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの影響で令和2年度には減少しています。令和3年度の1日あたりの利用者数は116.4人で令和2年度より6.7人増加しています。
- 運行主体別の1日あたりの利用者数をみると、市単独路線は令和元年度まで増加傾向、令和2年度で減少しています。全路線の1日あたりの利用者数は、令和3年度で150.8人となっています。



資料：飯塚市提供資料

▲ 年度別 コミュニティバス 路線別1日あたりの利用者数

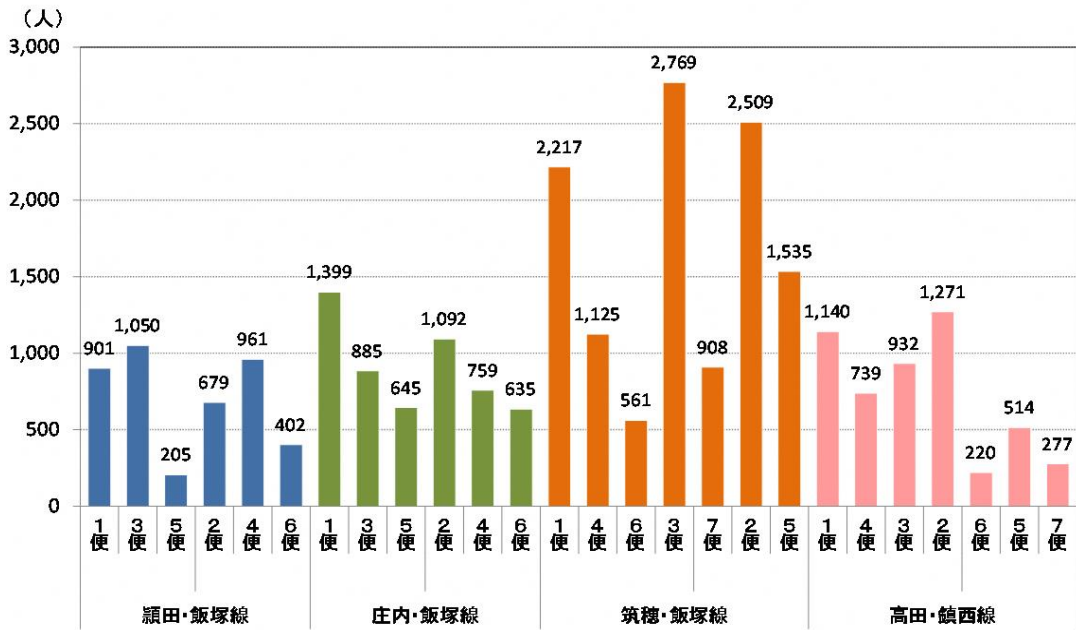


資料：飯塚市提供資料

▲ 年度別 コミュニティバス 運行主体別1日あたりの利用者数

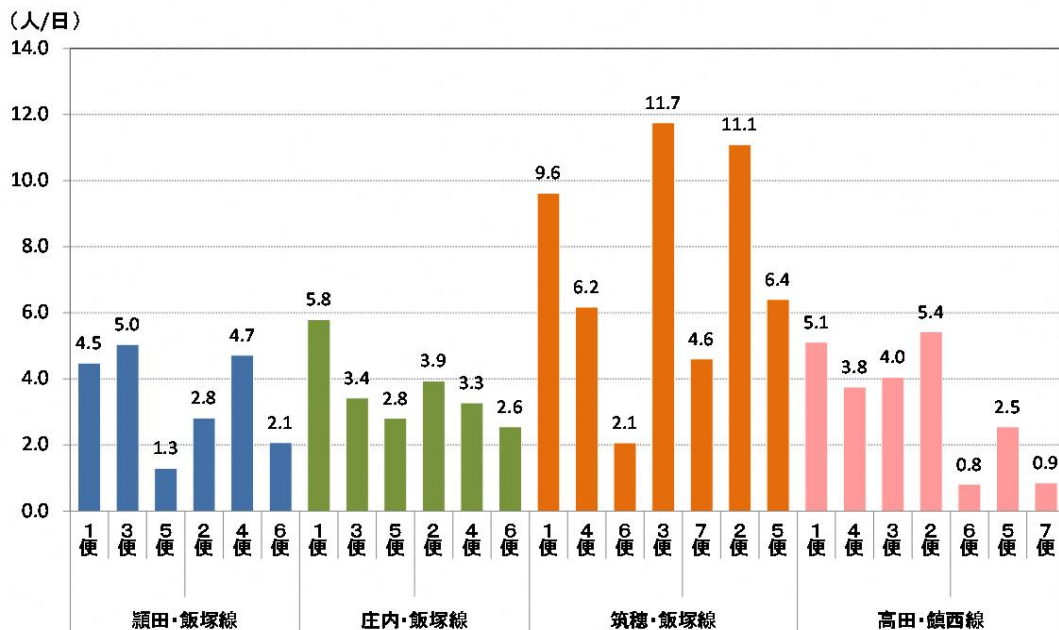
便別利用者数

- 便別利用者数をみると、主に午前中の便（1～3便）の利用者が多くなっています。
- 筑穂地区の1～3便のように、1便あたりの利用者が10人前後いる便もある一方で、穎田・飯塚線の5便や高田・鎮西線の6、7便は、1便あたりの利用者が約1人と非常に少ない状況です。



資料：飯塚市提供資料

▲ 令和3年度 コミュニティバス 便別利用者数



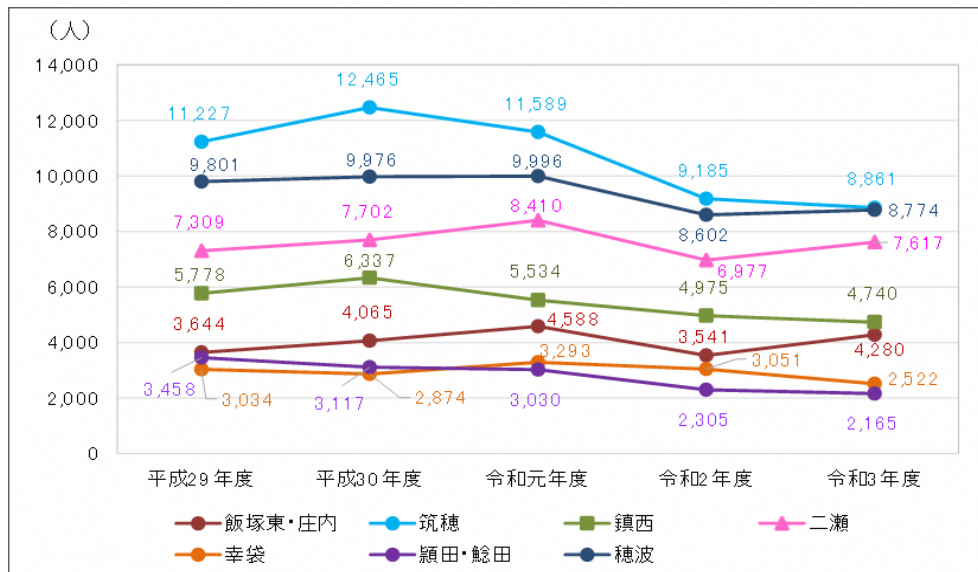
資料：飯塚市提供資料

▲ 令和3年度 コミュニティバス 便別1日あたりの利用者数

5) 予約乗合タクシーの利用状況

年度別利用者数

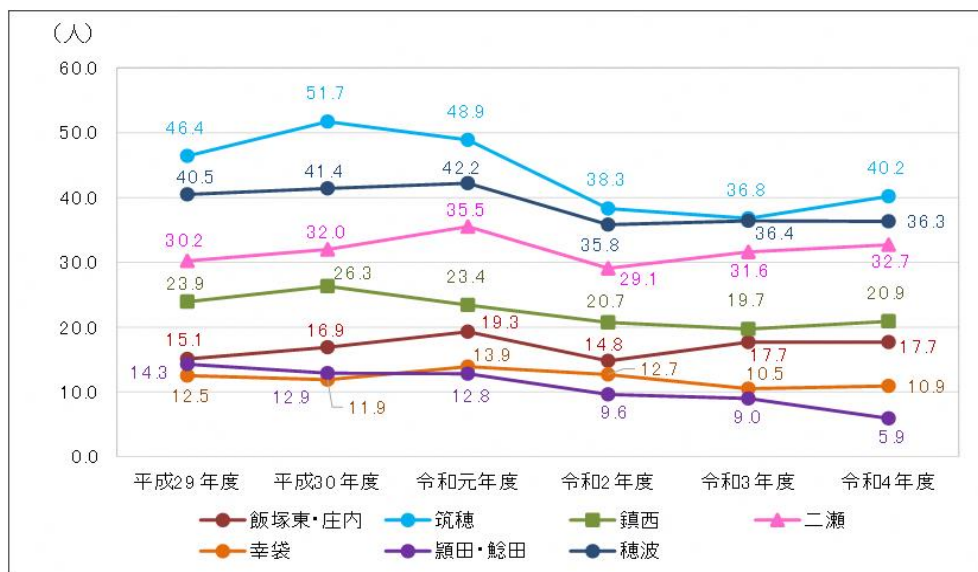
- 運行地区別の利用者数をみると、筑穂地区、穂波地区、二瀬地区、鎮西地区、飯塚東・庄内地区では平成30年度、令和元年度まで増加傾向、令和2年度以降減少に転じている。穎田・鯉田地区は平成29年度以降減少傾向となっています。
- 1日平均利用者数は、令和元年度までは各地区増加傾向、横ばいであったが、令和2年度には新型コロナウイルスの影響で減少しています。令和3年度以降、筑穂地区、穂波地区、二瀬地区、鎮西地区、飯塚東・庄内地区の1日平均利用者数は微増傾向にあるが、そのほかの地区では横ばい、減少傾向となっています。



資料：飯塚市提供資料

▲ 年度別 予約乗合タクシー 運行地区別利用者数

1日平均利用者数



※令和4年度は5月末時点

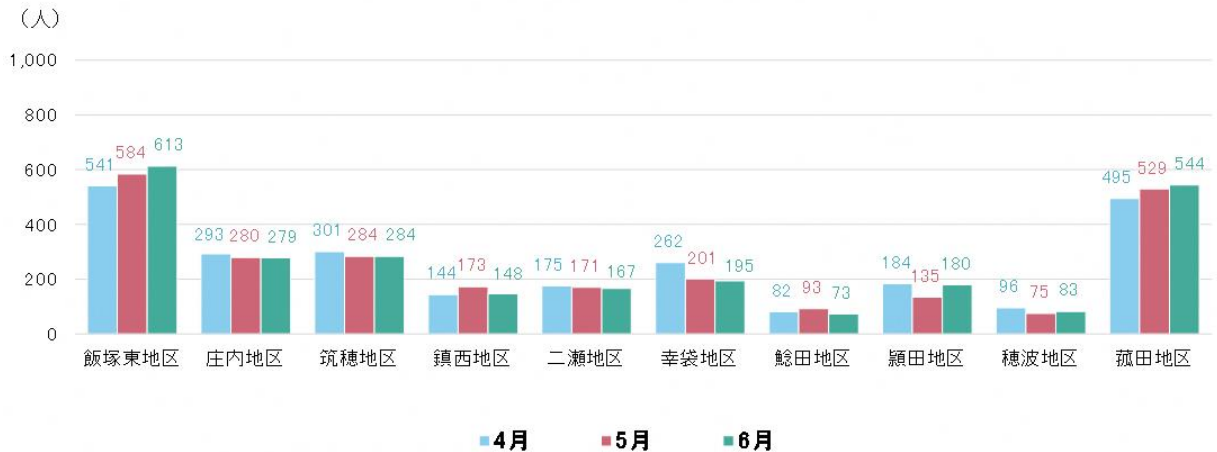
資料：飯塚市提供資料

▲ 年度別 予約乗合タクシー 運行地区別1日平均利用者数

6) エリアワゴンの利用状況

月別利用者数

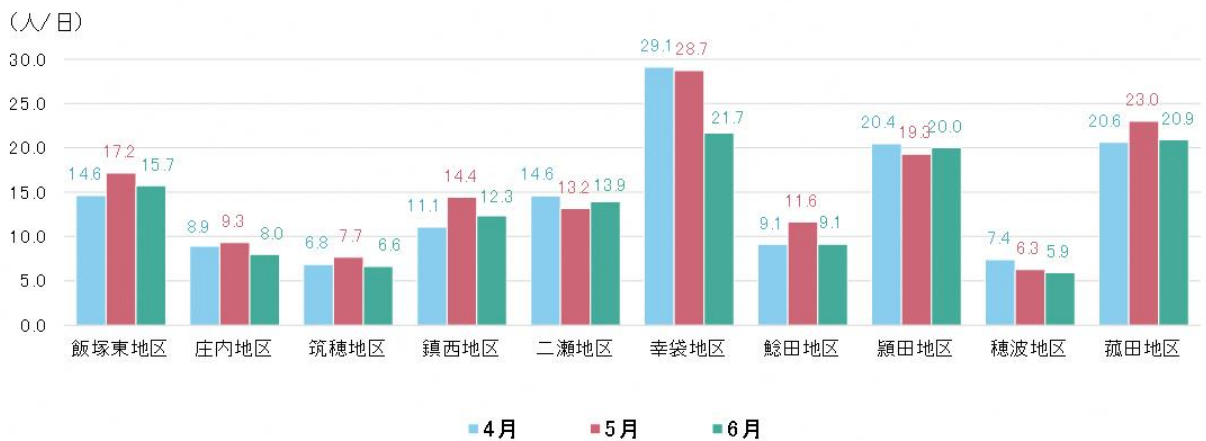
- エリアワゴンの月別利用者数は、飯塚東地区、菰田地区は増加傾向にあり、1カ月に約500～600人が利用しています。
- 1日平均利用者数は、幸袋地区、颯田地区、菰田地区で20人以上となっています。



※エリアワゴンは令和4年4月より運行開始
資料：飯塚市提供資料

▲ 月別 エリアワゴン 運行地区別利用者数

1日平均利用者数



※エリアワゴンは令和4年4月より運行開始
資料：飯塚市提供資料

▲ 月別 エリアワゴン 運行地区別1日平均利用者数

7) 路線ワゴンの利用状況

利用者数

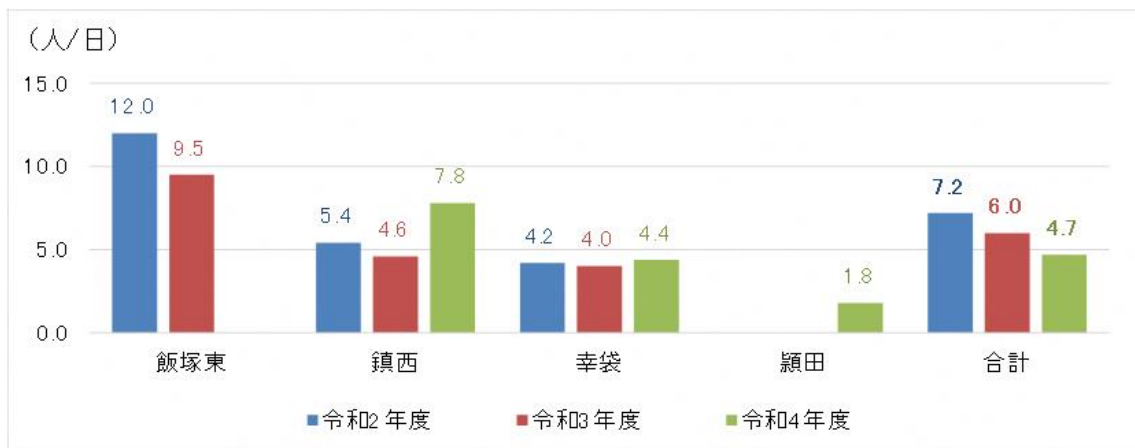
- 路線ワゴン全体の1日平均利用者数は、令和2年度以降減少傾向にあり、令和4年度5月末時点では4.7人となっています。
- 運行地区別にみると、令和4年度5月末時点で鎮西地区は7.8人、幸袋地区は4.4人、穎田地区は1.8人となっています。

▼ 年度別 路線ワゴン 運行地区別利用者数

		飯塚東	鎮西	幸袋	穎田	合計
利用者数 (人)	令和2年度	1,448	654	510		2,612
	令和3年度	2,301	1,108	955		4,364
	令和4年度		304	173	70	547
1日平均利用者数 (人/日)	令和2年度	12.0	5.4	4.2		7.2
	令和3年度	9.5	4.6	4.0		6.0
	令和4年度		7.8	4.4	1.8	4.7

※令和4年度は5月末時点
 ※飯塚樋勝・鎮西・幸袋は令和2年10月より運行開始、穎田は令和4年4月より運行開始
 ※飯塚東は令和4年4月からエリアワゴンの一部として運行しているため、路線ワゴン廃止
 資料：飯塚市提供資料

1日平均利用者数



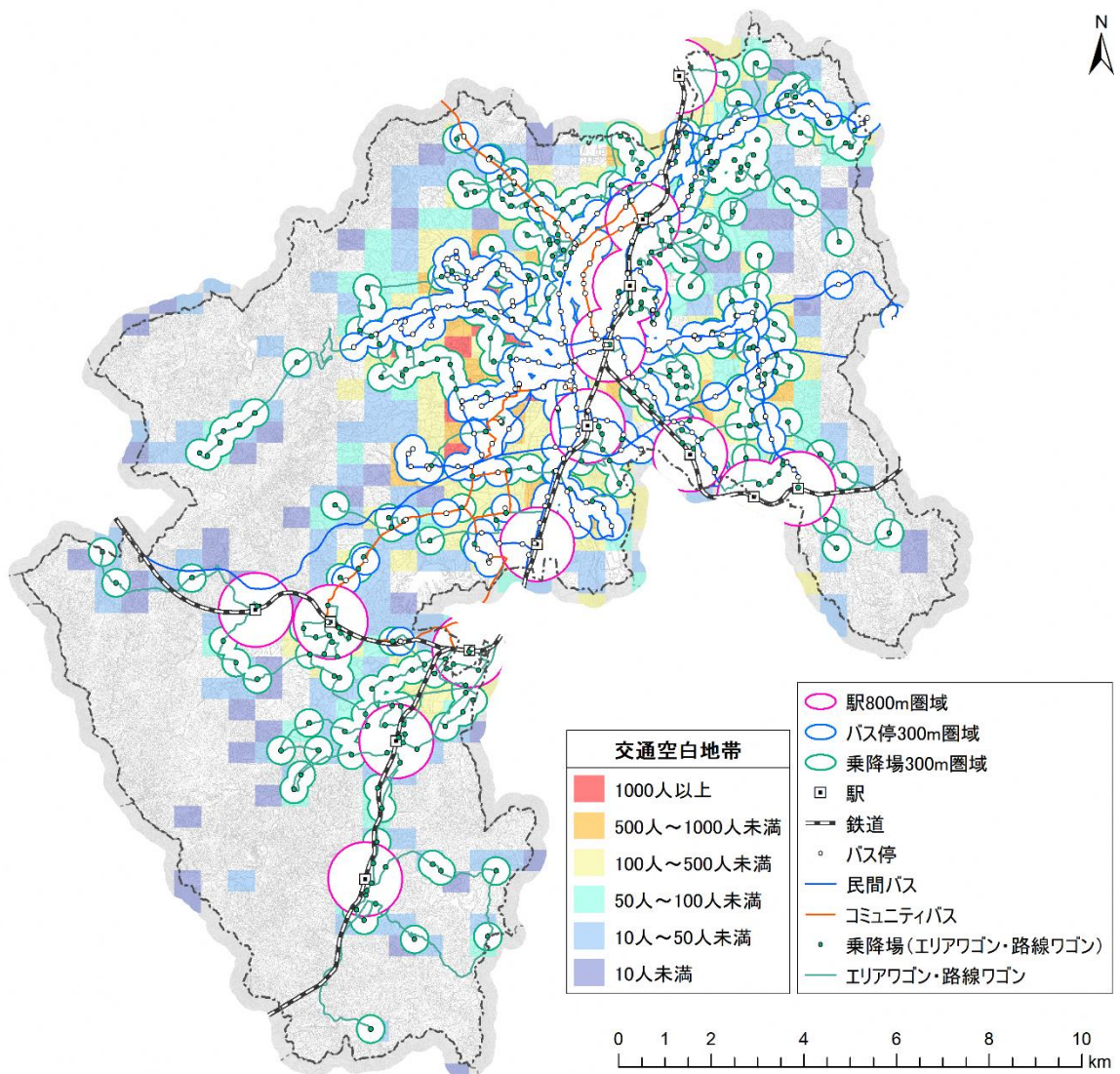
資料：飯塚市提供資料

▲ 年度別 路線ワゴン 運行地区別1日平均利用者数

2-5 公共交通空白地域の状況

定時定路線型の運行体系である鉄道や路線バスの利用が比較的容易である、駅から800m圏内またはバス停から300m圏内のカバー状況を整理しました。

- 公共交通空白地域は、山間部や郊外の人口が少ない地域で多く存在し、二瀬地区や鎮西地区、穂波地区の比較的人口の多いエリアにも一部みられますが、人口100人以上の地域は概ねカバーされています。
- 本市には市内中心部の3地区（菰田地区、飯塚地区、立岩地区）を除き、同一地区内であればどこにでも行くことが可能なデマンド型の公共交通（予約乗合タクシー）があり、定時定路線型の公共交通機関の交通空白地域を補完しています。



※圏域は「都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省）」を参考に設定

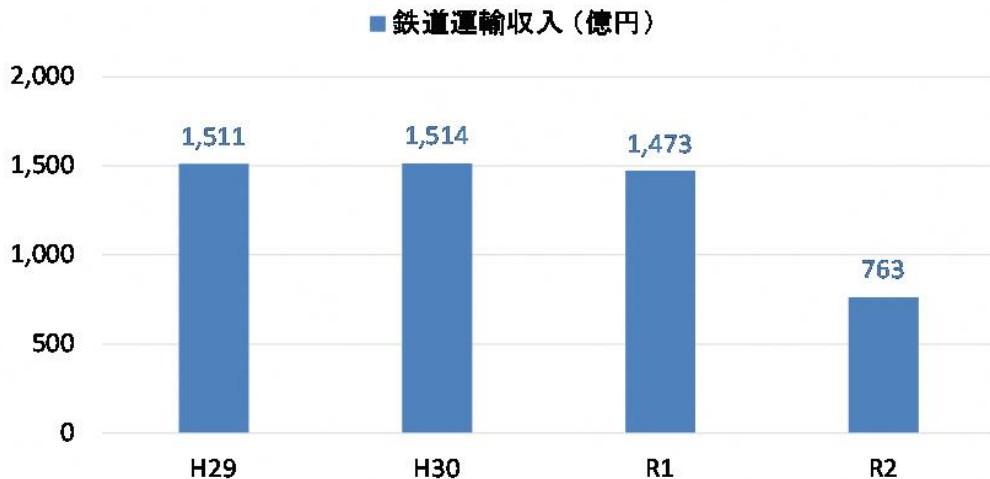
▲定時定路線型公共交通によるカバー圏域

2-6 飯塚市の地域公共交通の財政状況

飯塚市内の公共交通における財政状況について整理しました。なお、鉄道及び民間路線バスは飯塚市内に絞った詳細な資料が入手困難なため、各事業者がオンライン上で公開している資料を基に、各事業の収支状況等を整理しました。

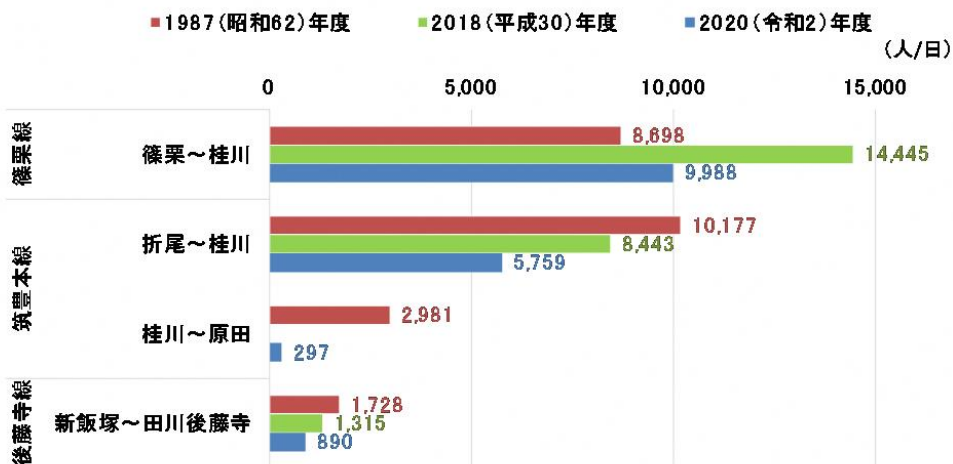
1) 鉄道の財政状況

- 鉄道輸入収入は令和元年まで増減を繰り返しているが、令和2年には新型コロナの影響で急減し、令和元年の約半分の763億円となっています。
- 平均通過人員を見ると、篠栗～桂川間（篠栗線）は1987年度から2018年度にかけて利用者が大きく増加しているが、同線の折尾～桂川間（筑豊本線）、原田線の桂川～原田間（筑豊本線）、後藤寺線の新飯塚～田川後藤寺間については利用者が大きく減少しています。2020年度には新型コロナの影響で各路線とも利用者が急減しています。



資料：JR九州ホームページ

▲ JR九州 鉄道運輸収入推移



※2018（平成30）年の筑豊本線（桂川～原田）は運転見合わせ期間があったため未開示
資料：JR九州ホームページ

▲ JR九州 路線別平均通過人員

「平均通過人員」は、利用客の1kmあたり的人数を表し、以下の計算により算出している。

【平均通過人員】＝【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】÷【当該路線の年度内営業キロ】÷【年度内営業日数】

2) 民間路線バスの財政状況

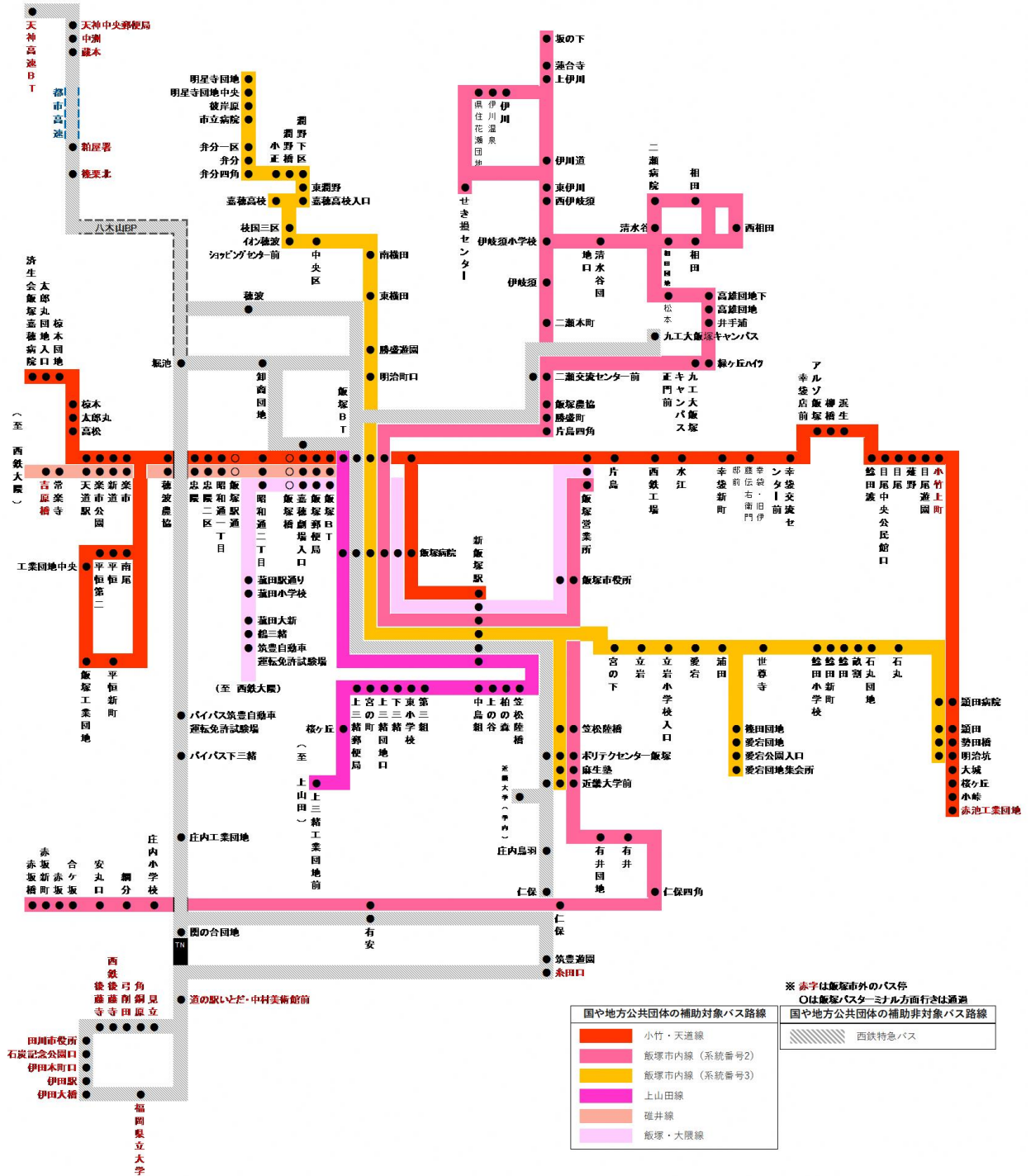
- 運送収入および輸送人員ともに令和元年度まで概ね横ばい、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響で、令和元年度の約7割程度まで減少しています。



資料：西鉄ホームページ

▲西鉄バスグループ年間運送収入と年間輸送人員の推移（乗合バス）

- 民間バス路線において、路線維持を目的とし国及び県や市などの地方公共団体から補助金を受けている路線は5路線となっている。



資料：飯塚市提供資料、西鉄ホームページ

※2022（令和4）年9月1日時点

▲飯塚市内の民間バス路線図と補助金交付状況

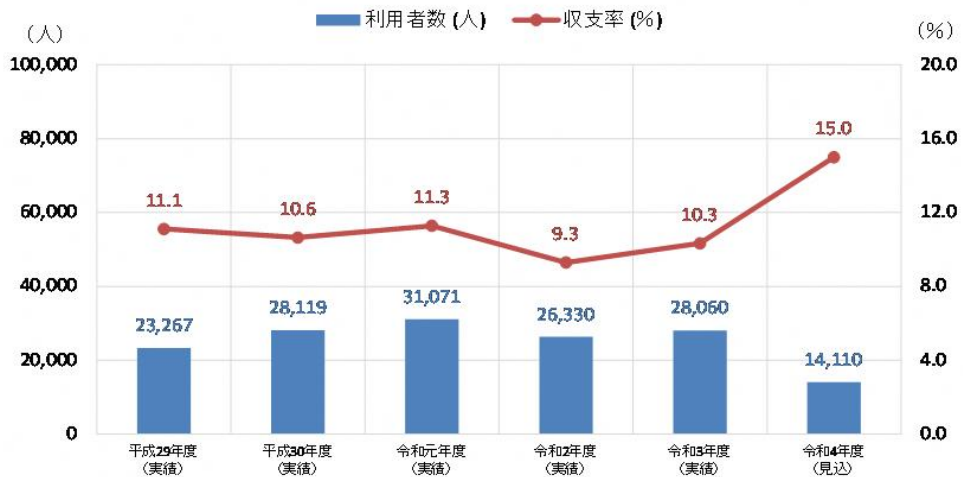
3) コミュニティバスの財政状況

- コミュニティバスの令和3年度における収支率（運行事業費に対する運賃収入の割合）は10.3%で、利用者1人あたりかかる運行事業費は1,387円となっています。

▼ コミュニティバス 年度別 事業費

項目	単位	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (見込)
コミュニティバス	利用者数	(人)	23,267	28,119	31,071	26,330	28,060
	運行事業費	(千円)	31,731	41,072	40,679	41,960	38,919
	運賃収入	(千円)	3,524	4,371	4,589	3,898	4,021
	補助金等	(千円)	0	2,359	3,244	3,044	0
	市負担金	(千円)	28,206	34,342	32,847	35,019	34,898
収支率	(%)	11.1	10.6	11.3	9.3	10.3	15.0
利用者1人あたりの運行費事業費	(円)	1,364	1,461	1,309	1,594	1,387	910
利用者1人あたりの市負担金	(円)	1,212	1,221	1,057	1,330	1,244	773

資料：飯塚市提供資料



▲ コミュニティバス 年度別 収支率



資料：飯塚市提供資料

▲ コミュニティバス 年度別 利用者1人あたりの事業費と負担金

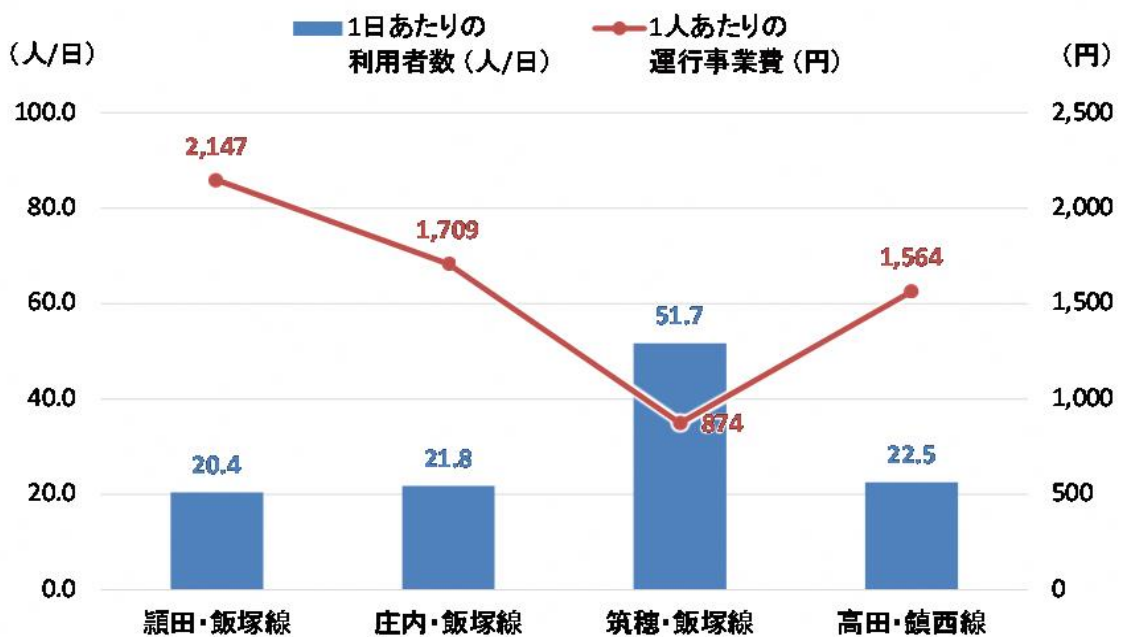
路線別

- 路線別の1人あたりの運行事業費では、穎田・飯塚線が最も高く2,147円となっており、最も低い筑穂・飯塚線の874円と比較して1,273円も高い事業費となっています。

▼ 令和3年度 コミュニティバス 路線別事業費

計算式	A	B	C: B/A	D	E: D/A
路線	運行日数 (日)	利用者数 (人)	1日あたりの 利用者数 (人/日)	運行事業費 (円)	1人あたりの 運行事業費 (円)
穎田・飯塚線	241	4,919	20.4	10,560,000	2,147
庄内・飯塚線	241	5,251	21.8	8,972,700	1,709
筑穂・飯塚線	241	12,457	51.7	10,890,000	874
高田・鎮西線	241	5,433	22.5	8,496,400	1,564
コミュニティバス 計	241	28,060	116.4	38,919,100	1,387

資料：飯塚市提供資料



資料：飯塚市提供資料

▲ 令和3年度 コミュニティバス 路線別 利用者1人あたりの事業費

4) 予約乗合タクシーの財政状況

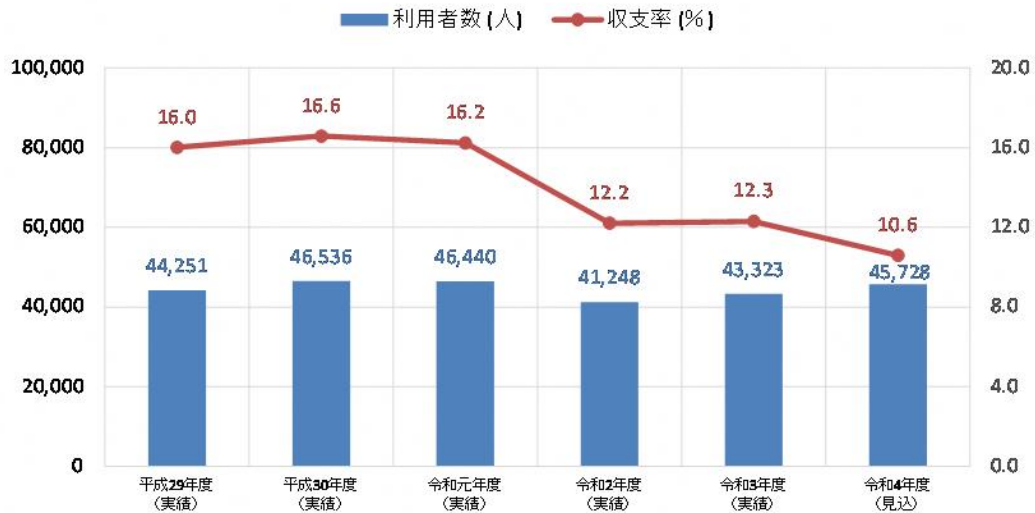
- 予約乗合タクシーの令和3年度における収支率（運行事業費に対する運賃収入の割合）は12.3%で、利用者1人あたりかかる運行事業費は1,681円となっています。

▼ 予約乗合タクシー 年度別 事業費

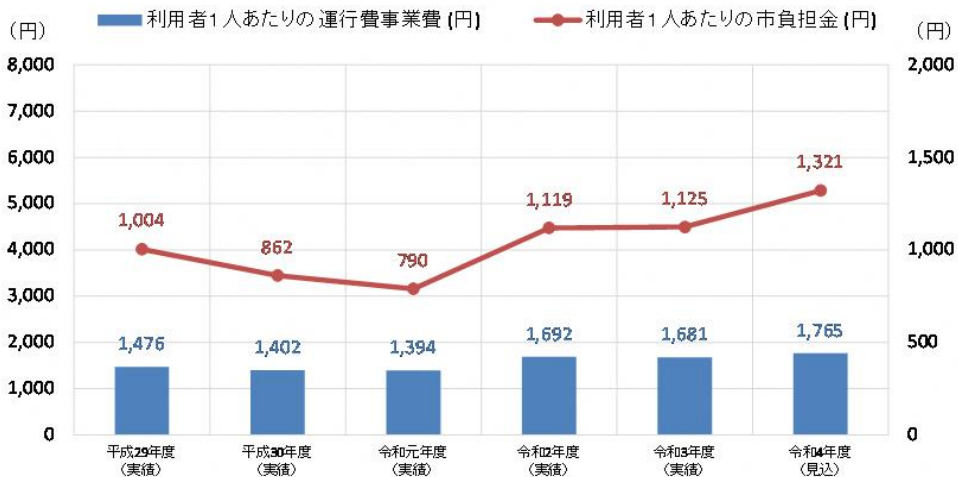
項目	単位	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (見込)	
予約乗合タクシー	利用者数	(人)	44,251	46,536	46,440	41,248	43,323	45,728
	運行事業費	(千円)	65,320	65,242	64,724	69,798	72,805	80,689
	運賃収入	(千円)	10,462	10,820	10,511	8,519	8,951	8,549
	補助金等	(千円)	10,429	14,319	17,519	15,135	15,135	11,735
	市負担金	(千円)	44,429	40,103	36,693	46,144	48,718	60,405
収支率	(%)	16.0	16.6	16.2	12.2	12.3	10.6	
利用者1人あたりの運行事業費	(円)	1,476	1,402	1,394	1,692	1,681	1,765	
利用者1人あたりの市負担金	(円)	1,004	862	790	1,119	1,125	1,321	

資料：飯塚市提供資料

※運行事業費には管理システム使用料と予約受付業務委託料を含む



▲ 予約乗合タクシー 年度別 収支率



資料：飯塚市提供資料

▲ 予約乗合タクシー 年度別 利用者1人あたりの事業費と負担金

運行地区別

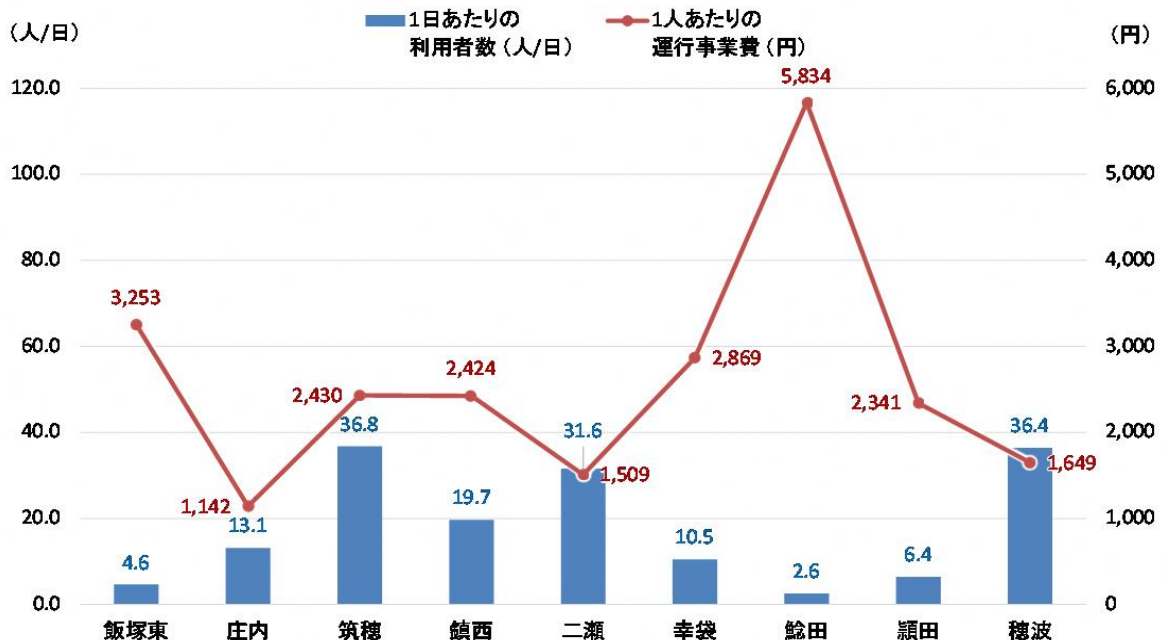
- 運行地区別の1人あたりの運行事業費では、鯉田地区が最も高く5,834円となっており、庄内地区が最も低く1,142円となっています。

▼ 令和3年度 予約乗合タクシー 運行地区別事業費

計算式	A	B	C: B/A	D	E	F: E/B	備考
地区	運行日数 (日)	利用者数 (人)	1日あたりの 利用者数 (人/日)	運行台数 【按分用】 (台)	1地区の 運行事業費 (円)	1人あたりの 運行事業費 (円)	
飯塚東	241	1,112	4.6	0.5	3,617,240	3,253	飯塚東と庄内の2地区を1台で運行
庄内	241	3,168	13.1	0.5	3,617,240	1,142	飯塚東と庄内の2地区を1台で運行
筑穂	241	8,861	36.8	3.0	21,535,140	2,430	3台で運行
鎮西	241	4,740	19.7	1.5	11,490,820	2,424	鎮西と二瀬で1台ずつ運行のほか、 両地区を跨る車両が1台ある
二瀬	241	7,617	31.6	1.5	11,490,820	1,509	鎮西と二瀬で1台ずつ運行のほか、 両地区を跨る車両が1台ある
幸袋	241	2,522	10.5	1.0	7,234,480	2,869	
鯉田	241	620	2.6	0.5	3,617,240	5,834	鯉田と頼田の2地区を1台で運行
頼田	241	1,545	6.4	0.5	3,617,240	2,341	鯉田と頼田の2地区を1台で運行
穂波	241	8,774	36.4	2.0	14,468,960	1,649	2台で運行
予約乗合タクシー 計	241	38,959	161.7	11.0	80,689,180	2,071	

資料：飯塚市提供資料

※運行事業費には管理システム使用料と予約受付業務委託料を含む



資料：飯塚市提供資料

▲ 令和3年度 予約乗合タクシー 運行地区別 利用者1人あたりの事業費